

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	50港湾総務一般経費
細事業名	01 港湾総務一般経費			決算書 P.134
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
3,689千円	3,729千円	40千円	98.9%	1,514千円
目的	久美浜港湾の漂着ゴミ等の清掃業務を行い、港湾環境及び景観を保全する。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○久美浜港湾清掃業務委託料 3,469千円 <ul style="list-style-type: none"> ・通常分 278千円 <ul style="list-style-type: none"> 実施地区：浦明、十楽 ・災害分 3,191千円 <ul style="list-style-type: none"> 実施地区：葛野、長柄、浦明、神崎、西本町、湊宮、一区 ※港湾隣接地区へ委託し実施 ○十楽埋立地管理委託料（草刈作業） 70千円 ○全国海岸協会負担金 30千円 ○京都府海岸協会負担金 70千円 ○日本港湾協会負担金 50千円 			
主な財源	府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金（10/10）	417千円	
	府委	久美浜港湾清掃業務委託金（10/10）	3,052千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府から受託した久美浜港湾内の清掃業務において、港湾に隣接している自治会等へ再委託し、港湾の環境保全を図ることができた。 ○豪雨時等に河川から港湾に流れ込む大量の漂着ゴミ等の堆積に対しても、引き続き、緊急対応ができるよう京都府に要望していく。 			
所管課	建設部/管理課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.134
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
9,315千円	9,436千円	121千円	98.7%	8,770千円
目的	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー代、電話代等の支払い事務を行った。 消防活動に万全の体制で対応するため、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。 ※消防吏員97人（平成30年3月末現在） ○旅費 835千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○消耗品費 5,012千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任職員貸与被服等購入費（制服、活動服、救助服等） 1,279千円 ・平成30年度新規採用職員貸与被服等購入費（制服等） 1,484千円 ・仮眠寝具等購入費 207千円 ・法令関係図書、事務用品、コピー代等 2,042千円 ○通信運搬費 1,313千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話料金、郵便料金、久美浜有線放送料金等 ○肝炎ウイルス検診委託料等（平成29年度新規採用職員3人） 94千円 ○職員健康診断委託料 789千円 <ul style="list-style-type: none"> ・潜水業務健康診断（11人） ・B型・C型肝炎抗体検査（78人） ・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断（交代制勤務者75人） ○コピー機借上料、印刷機借上料、テレビ受信料等 484千円 ○全国消防長会等負担金 403千円 ○その他事務経費等 385千円 			
主な財源				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の健康・安全管理を適切に行うことで、24時間体制の常備消防活動を維持・運用することができた。 ○事務用品、消耗品費等の発注を消防本部総務課で一括して行うなど、経費の節減に努めた。 			
所管課	消防本部/総務課			

予 算 科 目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細 事 業 名	01 救急救命士養成業務			決算書	P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
3,657千円	3,721千円	64千円	98.2%	3,721千円	
目的	医師の指示の下、救急車内等で救命処置ができる救急救命士の計画的な養成に加え、気管挿管が可能な救急救命士の養成を行い、市民の安心安全な生活に寄与する。				
主要な事務・事業の概要	<p>平成5年から毎年1人ずつ救急救命士を新規養成しており、平成29年度にも1人養成派遣するとともに、気管挿管の行える救急救命士の認定に必要な病院実習に1人派遣した。</p> <p>平成30年3月末現在の救急救命士数は、運用（救急車乗車）救命士20人、気管挿管認定救命士14人、処置拡大認定（心肺停止前静脈路確保、血糖測定、ブドウ糖投与）救命士22人である。</p> <p>（平成29年救急件数：2,567件、搬送人員2,415人）</p> <p>○旅費 382千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士養成派遣旅費（救急救命東京研修所：1人） 260千円 指導救命士養成研修旅費（救急救命九州研修所：1人） 122千円 <p>○職員研修委託料 580千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 現任救命士病院研修委託料（19人） 380千円 救急救命士資格取得後就業前病院研修（2人） 200千円 <p>○救急救命士養成負担金等 2,695千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急救命士新規養成研修費（救急救命東京研修所：1人） 2,071千円 気管挿管病院実習（丹後中央病院：1人） 300千円 指導救命士新規養成研修費（救急救命九州研修所：1人） 324千円 				
主な財源					
成果・課題	<p>○救急救命士による救命処置により、市民の安心安全な生活に寄与できた。</p> <p>○市民の生命を守るための救急救命士の継続養成は不可欠であり、今後も計画的に養成を行っていく必要がある。また、気管挿管など、より高度な救命処置を行うことのできる救急救命士の養成も必要である。</p> <p>○救急業務全般の質の向上のため、教育指導体制の充実及び好イカリトール協議会との連携体制の強化・円滑化を担う指導的立場の救命士の計画的な養成を行う必要がある。</p>				
所 管 課	消防本部／総務課				

予 算 科 目	09消防費	01消防費	01常備消防費	03消防訓練・研修業務	
細 事 業 名	02 消防学校等研修派遣業務			決算書	P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
3,724千円	3,764千円	40千円	98.9%	4,013千円	
目的	各種災害・救急・救助訓練などの研修会等に参加し、最新の知識や技術を習得するとともに、消防活動に必要な各種資格を取得し、複雑多様化する消防業務に対応する。				
主要な事務・事業の概要	<p>消防大学校、京都府立消防学校及び京都府消防長会等が主催する各科研修課程並びに各種研修会に、計画的かつ積極的に参加し、消防職員として複雑多様化する災害への対応に必要な知識・技能の向上を図った。</p> <p>○旅費 1,710千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防大学校及び府立消防学校への入校、各種専科教育課程・研修会、各種消防救助訓練 <p>○消防学校専科等研修負担金 1,522千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防大学校：予防科（1人）、上級幹部科（1人） 府立消防学校：初任科教育（3人・4月～9月）、火災調査科（1人）、予防査察科（1人）、危険物科（1人）、救助科（3人）、中級幹部科（1人）、特殊災害科（1人）、救急科（2人）、警防科（1人） <p>○各種講習会受講負担金 299千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 2級陸上特殊無線技士養成講習（1人）、潜水士検定（1人） 玉掛け技能講習（1人）、小型移動式クレーン技能講習（1人） 潜水管理業務講習（1人）、2級小型船舶操縦士免許講習（1人） 予防技術者検定料（2人）、酸素欠乏硫化水素危険作業主任者（1人） <p>○大型自動車免許取得補助金（1人） 66千円</p> <p>○その他の研修経費（バス運転委託料、有料道路通行料等） 127千円</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>○各種の状況を想定した災害・救助救急訓練、研修等に参加し、最新の専門的な技能・高度な知識を学ぶことで、複雑化する災害に対応する準備ができた。</p> <p>○各種専科教育等を受講し、持ち帰った技術、知識については、研修会等を通して職員へフィードバックを行うことができた。</p> <p>○災害の態様も年々変化しており、それらの災害に対応する知識・技能を習得し、消防業務に対応していく必要がある。</p>				
所 管 課	消防本部／総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	04予防・警防等業務
細事業名	01 予防・警防等業務			決算書 P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,372千円	5,494千円	122千円	97.7%	6,362千円
目的	事業所への防火管理指導や高齢者宅等への防火訪問、防火チラシの配布を行い火災予防を図る。消防活動を支える資機材の整備、更新により活動時の安全を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>防火啓発ポスターの募集、年末防火チラシの作成配布、露店防火指導及び防火座談会等の防火啓発活動に加え、災害時要配慮者世帯への戸別訪問を行い住宅用火災警報器設置普及を促進した。また、計画的に消火活動用資機材及び救助用資機材の点検、更新を行い、消防活動全般における、より安全・確実な活動に配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 14千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防火ポスター表彰記念品等(入選10作品)小学4年生対象 ○消耗品費 1,777千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者資格取得講習会テキスト等 ・各種防火啓発広報物品、救助活動用資機材(防護マスク吸収缶等) ・感染対策用防護資機材等 ○印刷製本費 200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・秋季、春季火災予防啓発チラシ計42,000枚、危険物安全ポスター100枚 ・火災予防運動防火ポスター(小学4年生の特選図画)900枚 ・住宅用火災警報器設置促進啓発チラシ10,000枚 ○修繕料 213千円 <ul style="list-style-type: none"> ・各種救助資機材、水難救助用資機材、消防活動資機材等 ○手数料 196千円 <ul style="list-style-type: none"> ・船舶検査、高圧ガス容器再検査、産業廃棄物処理手数料等 ○原材料費 191千円 <ul style="list-style-type: none"> ・火災予防運動用工作物材料等 ○備品購入費 2,484千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消火活動用資機材等(消防用ホース、高圧空気容器) ・水難救助用資機材等(ウェットスーツ、BCジャケット等) ○その他経費(検査委託料等) 297千円 			
主な財源	手数料 諸収入	消防手数料 防火管理者資格取得講習料	1,478千円 306千円	
成果・課題	<p>○平成32年度に運用開始を予定している違反対象物公表制度を前に、積極的な立入検査を実施し、防火管理の推進・消防用設備の維持管理等について適切に指導を行った。</p> <p>○平成29年の火災発生件数は、17件で前年から11件増加した。火災による死傷者を減らすため、住宅用火災警報器の設置などの火災予防啓発に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>○車両整備に伴い一部の積載資機材は更新されたが、その他の資機材は老朽化しているものも多く、適切な維持管理に加え、計画的な更新整備を行う必要がある。</p>			
所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	05救急業務												
細事業名	01 救急活動業務			決算書 P.136												
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実														
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額												
6,169千円	6,306千円	137千円	97.8%	6,476千円												
目的	救急資機材の整備や適切な管理の実施と、救急活動の事後検証など関係機関との連携により、安全で的確な救急活動を実施し、救命率向上に努める。															
主要な事務・事業の概要	<p>安全かつ的確な救急業務に対応するため、救急資機材の充実と必要な保守管理に努めた。また、B型肝炎等の感染症に関する知識を習得し、感染防止に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>出動救急件数</th> <th>搬送人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年</td> <td>2,567件(前年比 48件)</td> <td>2,415人(前年比 45人)</td> </tr> <tr> <td>平成28年</td> <td>2,519件(前年比 101件)</td> <td>2,370人(前年比 74人)</td> </tr> <tr> <td>平成27年</td> <td>2,418件(前年比 8件)</td> <td>2,296人(前年比 41人)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 163千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急管外搬送 ○消耗品費 2,707千円 <ul style="list-style-type: none"> ・滅菌ガーゼ、医療用酸素、酸素マスク等 ・除細動器用バッテリー等 ○修繕料(高度救急処置シミュレータ(訓練人形)修理) 100千円 ○高圧ガス容器検査手数料(医療用酸素ポンプ) 59千円 ○産業廃棄物処理手数料(救急活動で使用したガーゼ等) 125千円 ○京都救命指示センター委託料 1,457千円 <ul style="list-style-type: none"> ・24時間体制で医師が1人常駐し、救急救命士の指示要請に対応 ○高度救急医療機材定期点検保守委託料 1,092千円 <ul style="list-style-type: none"> ・除細動器、患者監視装置等の医療器材を定期的に点検整備 ○丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円 <ul style="list-style-type: none"> (救命救急業務向上のため、北丹医師会、与謝医師会、救急指定4病院、丹後保健所及び丹後広域振興局等と連携し協議会を組織) ○その他経費(消防業務賠償責任保険料等) 346千円 				年次	出動救急件数	搬送人員	平成29年	2,567件(前年比 48件)	2,415人(前年比 45人)	平成28年	2,519件(前年比 101件)	2,370人(前年比 74人)	平成27年	2,418件(前年比 8件)	2,296人(前年比 41人)
年次	出動救急件数	搬送人員														
平成29年	2,567件(前年比 48件)	2,415人(前年比 45人)														
平成28年	2,519件(前年比 101件)	2,370人(前年比 74人)														
平成27年	2,418件(前年比 8件)	2,296人(前年比 41人)														
主な財源																
成果・課題	<p>○関係機関と連携し救急活動の事後検証を行い、適切な救急活動の実施と充実を図った。</p> <p>○救マーク認定制度(施設関係者による応急手当が実施可能な事業所を認定)の普及に努めている。新規認定事業所は増加したが、一方で継続困難な事業所もあるため、対策する必要がある。</p> <p>○救命講習を実施したが、総受講者数が一般講習を中心に前年に比べ大幅に減少した。受講機会の拡大などの対策を実施し、応急手当が実施できる人を育成していく必要がある。</p>															
所管課	消防本部/総務課															

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	06通信指令業務						
細事業名	01 通信指令業務			決算書 P.136						
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額						
27,050千円	28,896千円	1,846千円	93.6%	27,691千円						
目的	24時間体制で火災、救急等の緊急要請を受信、処理する通信指令システムを適正に管理運用し、市民の安心・安全な生活に寄与する。									
主要な事務・事業の概要	<p>24時間体制で市民から緊急通報を受け、高機能消防指令システムを活用し災害発生地点を特定、消防車両の出動指令を行うとともに、市防災行政無線システムによる災害広報対応を行った。</p> <p>119番通信指令システムに不具合が生じないよう保守点検と予防交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 41千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用音声合成装置吹込み謝金（毎月1回） ○消耗品費 268千円 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン交換部品、雷サージ保安器等 ○修繕料 5,204千円 <ul style="list-style-type: none"> ・通信指令システム消耗品予防交換、気象観測装置（温湿度計）修理 ○通信運搬費（NTT専用回線料） 6,897千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指令回線（署所音声指令用、指令地図電送用）、119番転送回線 ○委託料 14,478千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防緊急通信指令施設自動出動システム変更 432千円 ・消防緊急通信指令施設保守業務委託料（指令台・無線） 12,614千円 ・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 1,196千円 ・自家用電気工作物保安管理委託料 236千円 ○その他経費 162千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府防災行政無線西山中継局舎電気料金負担金 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>27,367千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>98.8%</td> </tr> </table> <p>■平成30年度への繰越事業 1,529千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西山中継局無線装置修繕事業 平成31年3月完成予定 				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	27,367千円		実質的な予算執行率	98.8%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	27,367千円								
	実質的な予算執行率	98.8%								
主な財源	諸収入	西山中継局電源設備利用負担金	24千円							
成果・課題	<p>○通信機器等のメンテナンスを適切に実施し、市民等からの緊急通報に際してシステムに支障を来たすことなく対応を行うことができた。</p> <p>○連続運用を行う構成機材等の経年劣化による修繕、部品交換等は避けられないことから、運用に支障を生じるような重大事故を未然に防がなければならないため、計画的に機材の整備・交換を行うなど、引き続き適正に管理する必要がある。</p>									
所管課	消防本部／総務課									

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	07庁舎等維持管理事業
細事業名	01 庁舎等維持管理事業			決算書 P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
19,292千円	19,685千円	393千円	98.0%	18,983千円
目的	災害等に対応する活動拠点となる消防庁舎及び消防車両について、適切な維持管理と計画的な点検整備を行い、緊急出動等に適切に対応する。			
主要な事務・事業の概要	<p>消防庁舎は火災・救急・救助活動に備える拠点施設であり、職員が適切に活動できる職場環境の整備に努めた。</p> <p>また、各消防車両は災害の最前線で運用する車両であり、いつ災害が発生しても万全の状態での出動し、市民の安心安全な生活及び職員の安全確実な活動を支えるため、整備・点検を徹底した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消耗品費（トイレトーパー、蛍光管、洗剤等） 445千円 ○燃料費 5,393千円 <ul style="list-style-type: none"> ・車両関係燃料（ガソリン、軽油代） 3,902千円 ・施設関係燃料（ガス、灯油代） 1,491千円 ○光熱水費（消防本部ほか3署所の電気料金、上下水道料金） 7,443千円 ○修繕料 3,266千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設関係修繕（エアコン、照明器具等） 778千円 ・車両関係点検・整備（19台）、車検7台、定期点検（3か月（大型のみ）、6・12か月）修理等 2,488千円 ○公用車車検経費（7台分、自動車登録手数料、自動車重量税） 388千円 ○自動車損害保険料 348千円 ○保守点検委託料（通信指令室等空調設備、消防用設備等保安管理、キュービクル設備保安管理等） 387千円 ○庁舎床面清掃費（4署所分） 222千円 ○清掃用具借上料（モップ・マット等4署所分） 164千円 ○工事請負費（空調設備更新、副訓練棟外壁修繕等） 1,085千円 ○備品購入費（掃除機） 25千円 ○その他経費 126千円 			
主な財源	使用料	公有財産使用料	609千円	
	諸収入	市有自動車損害共済金	279千円	
成果・課題	<p>○24時間、職員が適切に活動できるよう、消防庁舎の環境整備を実施することができた。</p> <p>○消防車両は経年劣化の目立つ車両も含め、定期的かつ計画的にメンテナンスを実施することで、火災・救急・救助等の災害発生に際し、迅速な出動、的確な活動を行うことができた。</p> <p>○消防庁舎は消防活動の拠点であることから、今後も常時適切な状態に維持管理する必要がある。</p>			
所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等			
細事業名	01 団員報酬			決算書	P.136		
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額			
39,208千円	39,271千円	63千円	99.8%	40,271千円			
目的	消防団条例に基づき、団員に階級ごとの報酬を支給する。						
主要な事務・事業の概要	○団員報酬 39,208千円						
	年額(2回に分けて支給)						
	団長	189千円	指導員	57千円			
	副団長	123千円	部長	43千円			
	方面隊長	123千円	班長	33千円			
	副方面隊長	96千円	団員	19千円			
	分団長	96千円	支援団員	5千円			
	副分団長	57千円					
	(参考) 消防団員数内訳 (単位:人)						
	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
本部(※)	12	10	10	5	6	11	10
峰山町	359	346	346	343	339	317	318
大宮町	281	280	280	282	277	277	278
網野町	411	387	382	375	370	367	360
丹後町	236	226	222	223	219	218	221
弥栄町	209	198	195	192	189	195	190
久美浜町	242	242	242	240	240	258	260
合計	1,750	1,689	1,677	1,660	1,640	1,643	1,637
条例定数	1,805	1,805	1,805	1,805	1,805	1,730	1,730
不足数	△ 55	△ 116	△ 128	△ 145	△ 165	△ 87	△ 93
(各年4月1日現在)							
※平成27年度まで「本部」は、団長(1人)及び女性消防団員							
※平成28年度から「本部」は、団長(1人)、副団長(3人)及び女性消防団員							
主な財源							
成果・課題	団員確保が年々難しくなっている状況が続いていることから、引き続き、支援消防団員の活用を含め、団員確保を行う必要がある。						
所管課	消防本部/総務課						

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	01団員報酬・公務災害補償費等	
細事業名	02 公務災害補償費等			決算書	P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,771千円	3,772千円	1千円	99.9%	4,735千円	
目的	消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。				
主要な事務・事業の概要	公務災害補償制度(消防団員等公務災害補償等共済基金)や住民参加の防火訓練における災害補償制度(日本消防協会)を活用し、消防団員等が火災や訓練等で災害を受けた場合の損害賠償や災害補償の掛金を支出した。				
	○災害補償費 236千円				
	・公務災害補償費 消防団員5人分(火災時3人、訓練時1人、災害警戒時1人)				
	○負担金、補助及び交付金 3,535千円				
	・消防団員等公務災害補償掛金 3,480千円				
	団員 1,730人 × 1,900円 (条例定数(平成28年10月1日現在))				
	消防・水防作業 55,054人 × 3.5円 (平成27年国勢調査人口)				
	・災害補償費掛金 55千円				
	55,054人 × 1円 ※千円未満切捨て (平成27年国勢調査人口)				
	主な財源	諸収入	消防団員公務災害補償金	224千円	
成果・課題	消防団員等の公務災害及び防災訓練等に参加した住民の不慮の事故に対応するための災害補償掛金を支出するとともに、訓練等の活動に参加した団員の不慮の事故に対応することができた。				
所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	02団員退職報償金	
細事業名	01 団員退職報償金			決算書	P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
35,940千円	35,940千円	0千円	100.0 %	33,216千円	
目的	5年以上在職して退職した消防団員に対し、その団員の在職年数や階級に応じて支給する。また、その支給のための掛金を基金に支払う。				
主要な事務・事業の概要	<p>消防団員の多年の労苦に報いるため、非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例に基づき、その団員の在職年数や階級に応じて退職報償金を支給した。また、その支給のため、消防団員等公務災害補償等共済基金に掛金を支払った。</p> <p>○報償費 2,724千円 ・退職報償金(9人分)</p> <p>○負担金、補助及び交付金 33,216千円 ・消防団員退職報償金掛金 1,730人 × 19,200円 (条例定数(平成28年10月1日現在))</p>				
主な財源	諸収入	消防団員退職報償金	2,724千円		
成果・課題	条例に基づき、退職した消防団員に退職報償金を支給した。				
所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	03消防団活動運営事業	
細事業名	01 消防団活動運営事業			決算書	P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
119,280千円	120,476千円	1,196千円	99.0 %	110,176千円	
目的	消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び予防活動のほか、消防車両及び消防車庫の維持管理を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>消防団の運営及び活動に対する経費で、分団・部等の運営費及び出動手当のほか、消防車両及び消防車庫の維持管理経費、平成29年7月9日豊栄村広場にて行われた市長査閲経費等を支出した。</p> <p>○消防団運営活動謝金 55,164千円 (本部、分団、部、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防隊)</p> <p>○消防団員定例表彰等に係る表彰状・徽章等 206千円</p> <p>○消防団出動手当・訓練手当、職員旅費等 30,501千円</p> <p>○消耗品費(活動服、ヘルメット、長靴、手袋等) 6,959千円</p> <p>○消防車両維持管理経費(燃料、修繕料、保険料等 87台分) 17,569千円</p> <p>○消防車庫維持管理経費(電気代、火災保険料等 95施設分) 2,528千円</p> <p>○ポンプ自動車等点検(ポンプ自動車37台、小型ポンプ47台) 438千円</p> <p>○消防学校入校、京都府消防大会参加バス借上料等 369千円</p> <p>○備品購入費(消防用ホース84本、軽トラ2台、AED 3セット等) 4,894千円</p> <p>○京都府消防協会京丹後市支部負担金 255千円</p> <p>○その他費用(消火栓ボックスの処分、消火器処分手数料等) 397千円</p>				
主な財源	諸収入	市有自動車損害共済金	4,930千円		
成果・課題	<p>○消防団の運営に対する支援や施設設備を維持管理することができた。</p> <p>○京丹後市消防団として初めてとなる市長査閲に取り組み、団員の規律ある行動や消防技術の向上と士気の高揚を図ることができた。</p>				
所管課	消防本部/総務課				

予算科目	09消防費	01消防費	02非常備消防費	04消防設備維持管理事業
細事業名	01 消防設備維持管理事業			決算書 P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
17,528千円	17,530千円	2千円	99.9%	17,519千円
目的	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、消火栓の設置数に応じて水道事業会計及び簡易水道事業特別会計へ繰り出す。			
主要な 事務・ 事業の 概要	○繰出金 17,528千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業会計 5,400円 × 1,273基 6,874千円 簡易水道事業特別会計 5,400円 × 1,973基 10,654千円 			
	【消火栓管理基数内訳】			
	(単位：基)			
	区分	水道会計 管理基数	簡水会計 管理基数	
	峰山町	451	7	
	大宮町	299	200	
	網野町	383	223	
	丹後町	140	239	
	弥栄町		354	
	久美浜町		950	
	合計	1,273	1,973	
主な財源				
成果・課題	/			
所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	01常備消防施設等整備事業
細事業名	01 常備消防施設等整備事業			決算書 P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
72,340千円	72,477千円	137千円	99.8%	79,764千円
目的	災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、老朽化した各種車両の計画的な更新整備を行い、消防力の充実・強化と地域住民の安心・安全の確保を図る。			
主要な 事務・ 事業の 概要	消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車並びに積載資機材等の更新整備を行った。			
	○役務費 67千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 自動車登録手数料、リサイクル料 30千円 自動車保険料 37千円 			
	○備品購入費 72,223千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ自動車（CAFS仕様）及び資機材（1台） 42,091千円 配備先：久美浜分署 高規格救急自動車及び資機材（1台） 30,132千円 配備先：峰山消防署 			
	○自動車重量税			50千円
主な財源	市債	消防自動車整備事業債（過疎対策債）		72,100千円
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○経年劣化した高規格救急自動車及び積載資機材並びに消防ポンプ自動車の更新整備により、消防力の維持向上を図り、災害発生時における迅速、的確な対処に備えることができた。 ○今後も消防力維持のため、老朽化車両の計画的な更新整備を図る必要がある。 			
所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	01常備消防施設等整備事業
細事業名	01 常備消防施設等整備事業（繰越）			決算書 P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
37,897千円	47,901千円	10,004千円	79.1%	47,901千円
目的	夜間離発着にも対応可能な消防ヘリポートの整備を行い、消防力の充実・強化と地域住民の安心・安全の確保を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>24時間対応可能な場外離発着場（ヘリポート）の整備工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 864千円 <ul style="list-style-type: none"> ・工事監理委託料（電気設備工事） ○工事請負費 37,033千円 <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事費 25,601千円 ・電気工事費 11,432千円 <p>※場所：弥栄町溝谷（旧溝谷小学校グラウンド） 面積：約3,200㎡ アスファルト舗装 夜間離着陸用電気設備：航空障害灯（2か所）、位置表示灯（2か所） 着陸区域照明灯 平成29年6月完成、9月運用開始</p>			
主な財源	国補市債	防衛施設周辺対策事業補助金（7.5/10） 消防防災施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）	28,410千円 9,000千円	
成果・課題	<p>○着陸区域照明灯や航空障害灯などの航空用灯火を備えた24時間対応可能なヘリポートの整備を行い、地域住民の安心・安全に寄与することができた。</p> <p>○今後も通年利用可能な救急用ヘリポート整備について、取り組む必要がある。</p>			
所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	02非常備消防施設等整備事業
細事業名	01 消防車両整備事業			決算書 P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
35,050千円	35,162千円	112千円	99.6%	38,651千円
目的	年数が経過し老朽化した消防車両を更新し、火災をはじめ風水害などの災害発生時に迅速かつ的確に対処する。			
主要な事務・事業の概要	<p>災害時などの救助活動に対応するため、CD-I型消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付積載車はチェーンソー、布担架及び救急セットなどの救助資機材を装備した多機能型消防車両への更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○備品購入費 34,914千円 <ul style="list-style-type: none"> ・CD-I型多機能消防ポンプ自動車 1台 19,548千円 峰山第4分団第3部（新町） ・多機能型小型動力ポンプ付積載車 1台 9,369千円 弥栄第2分団第2部（外村） ・小型動力ポンプ付軽積載車 1台 5,997千円 大宮第3分団第2部（延利） ○役務費 78千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車登録手数料 9千円 ・自動車リサイクル料 28千円 ・自動車損害保険料 26千円 ・自動車損害共済分担金 15千円 ○公課費 58千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車重量税 			
主な財源	府補市債	地域防災力総合支援事業補助金（基準額の1/2） 消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）	5,500千円 29,400千円	
成果・課題	平成30年4月1日現在、市は消防車両86台を所有しており、そのうち、購入後20年以上経過している車両が20台あることから、今後も計画的に更新していく必要がある。			
所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	02非常備消防施設等整備事業
細事業名	02 消防車庫等整備事業			決算書 P.136
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,094千円	1,099千円	5千円	99.5%	2,816千円
目的	消防団組織の見直しにより、小型動力ポンプ付積載車を配置する消防車庫を整備するための工事設計を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>平成28年度の消防団組織見直しにより、小型動力ポンプ付積載車を新たに配置する地域の車庫整備をするための工事設計を行った。 ※峰山第2分団第3部車庫（峰山町安・吉原グラウンド）</p> <p>○建築確認申請手数料 36千円 ○工事設計委託料 1,058千円</p>			
主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（合併特例債）			1,000千円
成果・課題	<p>○消防車庫整備のために、実施設計を適切に行った。 ○消防車両を適切に配置するための車庫整備を、引き続き行う必要がある。 ○老朽化した消防車庫について、防災拠点の確保の観点からも適切に維持管理する必要がある。</p>			
所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業																																																																						
細事業名	01 消火栓設置事業			決算書 P.138																																																																						
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実																																																																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																						
18,532千円	19,851千円	1,319千円	93.3%	20,584千円																																																																						
目的	初期消火に有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮するとともに計画的に整備し、地域の防災力を高める。																																																																									
主要な事務・事業の概要	<p>○需用費 消火栓修繕料 2か所（大宮町五十河、久美浜町西本町） 281千円</p> <p>○工事請負費 18,251千円 【消火栓工事施工概要】 (単位：基)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">新設</th> <th colspan="2">改修</th> <th colspan="2">移設</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>地下式</th> <th>地上式</th> <th>地下式</th> <th>地上式</th> <th>地下式</th> <th>地上式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>13</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 繰越明許費を除いた最終予算額 18,551千円 実質的な執行率 99.9%</p> <p>■平成30年度への繰越事業 ・消火栓設置事業 平成30年8月完成予定 1,300千円</p>				区分	新設		改修		移設		合計	地下式	地上式	地下式	地上式	地下式	地上式	峰山			1				1	大宮							0	網野							0	丹後				11			11	弥栄			8				8	久美浜			4	14			18	合計	0	0	13	25	0	0	38
区分	新設		改修			移設		合計																																																																		
	地下式	地上式	地下式	地上式	地下式	地上式																																																																				
峰山			1				1																																																																			
大宮							0																																																																			
網野							0																																																																			
丹後				11			11																																																																			
弥栄			8				8																																																																			
久美浜			4	14			18																																																																			
合計	0	0	13	25	0	0	38																																																																			
主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）			18,200千円																																																																						
成果・課題	水道管の布設替等の工事に併せ、老朽化した消火栓の改修工事を実施することにより、地域の防災力を高めることができた。																																																																									
所管課	消防本部／総務課																																																																									

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業
細事業名	01 消火栓設置事業（繰越）			決算書 P.138
総合計画	計画項目 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
7,590千円	9,240千円	1,650千円	82.1%	9,240千円
目的	初期消火に有効な消火栓の設置等について、地区要望及び周辺の水利状況等を考慮するとともに計画的に整備し、地域の防災力を高める。			
主要な事務・事業の概要	<p>○工事請負費 7,590千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取地区のガス管布設替工事に伴う消火栓の更新（地下式7基） ・奥三谷地区配水管布設替工事に伴う消火栓の更新（地下式5基） ・口馬地地区配水管布設替工事に伴う消火栓の更新（地上式2基） ・奥馬地地区配水管布設替工事に伴う消火栓の更新（地上式8基） 			
主な財源	市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）	1,800千円	
	市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策債）	5,600千円	
成果・課題	水道管等の布設替工事に併せ、老朽化した消火栓の改修工事等を実施することにより、地域の防災力を高めることができた。			
所管課	消防本部／総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	04消火栓整備事業																
細事業名	02 消火栓ボックス等整備事業			決算書 P.138																
総合計画	計画項目 10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実																			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																
2,937千円	3,000千円	63千円	97.9%	3,000千円																
目的	老朽化に伴う消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。																			
主要な事務・事業の概要	<p>消火栓は、初期消火に有効な設備で、迅速かつ効果的に使用するためには消火栓備品の整備が必要である。そのため、区からの要望等を踏まえ、老朽化に伴う消火栓備品の更新を行った。</p> <p>○備品購入費 2,937千円</p> <p>【消火栓備品】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外型ホース格納箱（スチール製）</td> <td>70台</td> </tr> <tr> <td>屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）</td> <td>70台</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース</td> <td>165本</td> </tr> <tr> <td>管ぞう（ノズルは噴霧タイプでない）</td> <td>55本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地上式用）</td> <td>10本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地下式用）</td> <td>25本</td> </tr> <tr> <td>単口式スタンドタイプ（地下式用）</td> <td>35本</td> </tr> </tbody> </table>				品名	数量	屋外型ホース格納箱（スチール製）	70台	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	70台	消火栓用ホース	165本	管ぞう（ノズルは噴霧タイプでない）	55本	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	10本	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	25本	単口式スタンドタイプ（地下式用）	35本
品名	数量																			
屋外型ホース格納箱（スチール製）	70台																			
屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	70台																			
消火栓用ホース	165本																			
管ぞう（ノズルは噴霧タイプでない）	55本																			
消火栓開閉ハンドル（地上式用）	10本																			
消火栓開閉ハンドル（地下式用）	25本																			
単口式スタンドタイプ（地下式用）	35本																			
主な財源																				
成果・課題	老朽化した消火栓ボックス等の資機材の整備を行い、地域の防災力を高めることができた。																			
所管課	消防本部／総務課																			

予算科目	09消防費	01消防費	03消防施設費	50消防施設一般経費
細事業名	01 消防施設一般経費			決算書 P.138
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
2,456千円	2,565千円	109千円	95.7%	1,734千円
目的	消防活動を円滑に行うため、消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 1,071千円 <ul style="list-style-type: none"> ・小西川可動堰電気料 61千円 ・消防車庫修繕(15か所) 704千円 ・防火水槽等修繕(4か所) 306千円 ○委託料 1,218千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防車庫用地分筆登記委託料(弥栄町黒部地内) 377千円 ・防火水槽用地分筆登記委託料(久美浜町丸山地内) 841千円 ○使用料及び賃借料 167千円 <ul style="list-style-type: none"> ・簡易デジタル無線電波利用料 			
主な財源				
成果・課題	消防資機材や車庫、消防水利等の維持管理を行った。			
所管課	消防本部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	01防災会議運営事業
細事業名	01 防災会議運営事業			決算書 P.138
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
31千円	58千円	27千円	53.4%	222千円
目的	地域防災計画の作成及びその実施を推進するほか、市の防災対策に関する重要事項を審議する。			
主要な事務・事業の概要	<p>地域防災計画全編の修正及び地区防災計画の承認等を行うため審議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災会議委員報酬 28千円 <ul style="list-style-type: none"> ・7人×4千円×1回分 ○費用弁償 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・8人×1回分 <p>開催日時 平成30年2月21日 出席委員数 21人(うち、委員報酬対象7人、費用弁償対象8人) 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画(一般計画・震災対策編計画・原子力災害対策編)の修正について ・地区防災計画の承認について(地区計画累計:5件) (平成29年度承認地区:峰山町荒山区、長岡区、新治区) (既承認地区:峰山町橋木区、大宮町奥大野区) </p>			
主な財源				
成果・課題	地域防災計画全編の修正及び地区防災計画の承認を行い、自助・共助の精神に基づく自主防災の推進と地域と連携した災害対応体制の強化を図ることができた。			
所管課	総務部/総務課			

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	02防災行政無線維持管理事業														
細事業名	01 防災行政無線維持管理事業			決算書 P.138														
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額														
34,975千円	35,115千円	140千円	99.6%	35,332千円														
目的	防災行政無線施設及び設備について、保守点検、修繕等により維持管理し、災害時に迅速かつ的確な情報を市民に周知できるようにする。																	
主要な事務・事業の概要	<p>防災行政無線設備の定期的な保守点検と維持管理及び故障機器の修繕対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戸別受信機用アンテナ、消耗品費 616千円 ○屋外拡声子局等電気代 3,186千円 ○施設修繕料（西山中継局アンテナ、網野町防災行政無線設備、屋外拡声子局（大宮山城橋、琴引浜）） 1,111千円 ○防災行政無線（同報系）地区遠隔制御装置回線使用料等（消防本部、各庁舎間（福祉事務所を含む）を結ぶ遠隔制御装置等） 2,583千円 ○火災保険料 29千円 ○西山通信施設周辺草刈委託料 80千円 ○設備保守点検委託料 22,411千円 ○戸別受信機設置等委託料 2,896千円 （新規設置101台、障害対応335台、撤去9台） ○防災行政無線再免許申請手数料（委託料、申請手数料） 1,465千円 ○防災行政無線敷地借上料（丹後町2か所1,562㎡） 16千円 ○電波利用料（同報系） 375千円 ○関電柱共架料（琴引浜屋外拡声子局への有線延長） 3千円 ○西山通信施設電気代負担金（京都府施設借用分） 108千円 ○無線従事者養成講習会受講経費（職員2人分） 96千円 <p>※戸別受信機設置台数（H30.3.31現在）（単位：台）</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>5,074</td> <td>3,028</td> <td>4,500</td> <td>2,245</td> <td>1,847</td> <td>3,268</td> <td>19,962</td> </tr> </table>				峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	5,074	3,028	4,500	2,245	1,847	3,268	19,962
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計												
5,074	3,028	4,500	2,245	1,847	3,268	19,962												
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	10,000千円															
成果・課題	<p>○災害状況の周知や避難情報等を防災行政無線で市民に的確かつ迅速に放送した。</p> <p>○定期的な保守点検や修繕を行い、防災行政無線設備の適正な維持管理、運用ができた。</p> <p>○アナログ方式である峰山町及び網野町内の無線設備をデジタル方式にする必要がある。</p>																	
所管課	総務部／総務課																	

予算科目	09消防費	01消防費	04災害対策費	50災害対策一般経費
細事業名	01 災害対策一般経費			決算書 P.138
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
34,517千円	35,225千円	708千円	97.9%	10,689千円
目的	備蓄物資の購入や各種防災用機器の維持管理を行い、災害に備える。			
主要な事務・事業の概要	<p>災害時に備えた備蓄物資の購入、各種防災用機器の維持管理に要する経費のほか、自主防災組織支援の補助金など、災害対策に係る経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員人件費（災害等本部設置による時間外勤務手当等） 27,051千円 ・大雨（7/24、8/11～12、8/17～18）、台風（5号、18号、21号、22号）大雪（2/5～22） ○職員出張旅費 127千円 ○報償費（研修会講師謝金） 30千円 ○需用費 4,370千円 ・災害対策用備蓄物資（アルファ米、保存水、毛布等） 4,250千円 ・燃料費 1千円 ・防災倉庫等電気代 110千円 ・ネットワークプリンタ修理代 9千円 ○役務費 329千円 ・災害対策本部テレビ会議通信料 212千円 ・廃油処理手数料 98千円 ・起震車保険料、防災倉庫等火災保険料 19千円 ○委託料（府防災情報システム保守、冠水装置保守） 922千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料、土地借上料、電波利用料） 71千円 ○原材料（災害時土のう用山土） 192千円 ○自主防災組織資機材購入補助金（30団体） 1,367千円 ○負担金（府水難救済会、丹後広域危険物安全協会） 58千円 			
主な財源	繰入金	災害対策基金繰入金	3,500千円	
成果・課題	<p>○自主防災組織の設立推進に取り組むことにより、新たに5地区で設立し、地域における防災体制の充実に寄与した。</p> <p>○市内では高齢・少数世帯地区が増加しているため、今後複数地区において自主防災組織を合同設置することなども検討していく必要がある。</p> <p>○新たに9団体と災害時応援協定を締結し、災害対応体制の更なる強化に寄与した。</p>			
所管課	総務部／総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	01教育委員会費	50教育委員会一般経費	
細事業名	01 教育委員会一般経費			決算書	P.138
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
4,056千円	4,072千円	16千円	99.6%	4,072千円	
目的	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会を運営する。				
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員の報酬、会議参集や研修の費用及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出した。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会7回と協議会2回を開催した。また、各種研修や先進地視察・市内学校視察等の活動も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 3,528千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の報酬(4人) ○旅費等 163千円 <ul style="list-style-type: none"> ・近畿、府内教育委員研修大会参加に要する経費 ・先進地視察研修に要する経費(箕面市立箕面小学校、宮津市立図書館) ※視察テーマ <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のICT化における学校運営等について ・図書館整備の経緯、施設概要等について ・各種研修、会議出席等市内用務出席に要する経費 ・有料道路通行料、燃料代 ○消耗品費 7千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員交代に係る経費(委員バッジ)等 ○負担金 358千円 <ul style="list-style-type: none"> ・丹後地方教育委員会連合会負担金 				
主な財源					
成果・課題	<p>○各種研修会への参加や管内・管外の視察を実施するなど、幅広い識見を得るための積極的な活動を行うことができた。</p> <p>○地域の意向や様々な教育現場の状況を把握し、教育施策の提案や教育委員会の意思決定に反映させるため、管内視察等の充実を図る。</p>				
所管課	教育委員会事務局/教育総務課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	03指導主事設置事業	
細事業名	01 指導主事設置事業			決算書	P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
9,939千円	9,988千円	49千円	99.5%	9,953千円	
目的	非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。				
主要な事務・事業の概要	<p>4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性や見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 7,992千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事報酬(166,500円×4人×12か月) ○共済費 1,314千円 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料、雇用保険料 ○旅費 623千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 ○需用費 10千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 				
主な財源					
成果・課題	<p>学校経営、教育内容に対する専門的知識や豊かな経験をもとにした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p>				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	04学校医委嘱事業	
細事業名	01 学校医委嘱事業			決算書	P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額	
24,119千円	24,283千円	164千円	99.3%	24,283千円	
目的	学校保健安全法に基づき、各学校及び幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	○報酬		24,098千円		
	・医師報酬	幼稚園 6人	926千円		
		小学校 19人	6,665千円		
		中学校 6人	2,779千円		
	・歯科医報酬	幼稚園 6人	926千円		
		小学校 19人	6,665千円		
		中学校 6人	2,779千円		
	・薬剤師報酬	幼稚園 6人	616千円		
		小学校 19人	2,187千円		
		中学校 6人	555千円		
	○旅費		21千円		
	・費用弁償				
主な財源					
成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒等の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	05学務経費	
細事業名	01 学務経費			決算書	P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額	
5,765千円	6,066千円	301千円	95.0%	6,066千円	
目的	学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。				
主要な事務・事業の概要	○学齢簿の管理（学齢簿関連システム改修委託料・保守料）		497千円		
	○小中学校音楽フェスティバルの開催 （消耗品費、印刷製本費、医薬材料費、手数料、会場借上料）		206千円		
	開催日：平成29年11月15日(水) 場所：京都府丹後文化会館				
	参加校：小学校5校（丹波小、いさなご小、島津小、豊栄小、弥栄小） 中学校2校（大宮中、弥栄中）				
	○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費）		82千円		
	・小学校ふれあい交流会（各中学校区で実施） 小学校及び中学校が集まって交流 実施中学校区：全中学校区				
	・中学校ふれあい交流会（市全体で実施） 体育交流会 開催日：平成29年6月14日(水) 場所：網野中学校 文化交流会 開催日：平成29年11月8日(水) 場所：久美浜中学校 参加校：全中学校				
	○就学時健康診断（医師謝金、消耗品費、費用弁償）		753千円		
	○負担金		4,082千円		
	・日本スポーツ振興センター負担金		3,893千円		
	・京都府学校保健会負担金、京都府学校保健主事会負担金		68千円		
	・京都府特別支援教育研究協議会		10千円		
	・教育研究事業負担金		111千円		
	○人権教育研究会（消耗品費、印刷製本費）		96千円		
○児童生徒・教職員健康診断（消耗品費、印刷製本費、施設使用料）		9千円			
○各種通知封筒印刷		40千円			
主な財源					
成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級に在籍する児童生徒の学校間交流を通じて、社会性や豊かな人間性の育成を支援することができた。 ○小中学校音楽フェスティバルについては、児童生徒及び教職員の負担軽減のため、引き続き取組の内容を検討する必要がある。				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	06学校安全対策事業	
細事業名	01 学校安全対策事業			決算書	P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
4,728千円	4,747千円	19千円	99.5%	4,917千円	
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、園児、児童生徒を事件や事故から守る。				
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理 各学校・幼稚園に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。				
	・維持管理費及び運行経費				
	燃料費（ガソリン代）	856千円			
	消耗品費・修繕料（車検、車両消耗品、事故車両修繕ほか）	800千円			
	手数料・保険料・公課費	1,116千円			
	配車一覧				
	1 峰山小、長岡小	8 いさなご小	15 峰山中		
	2 大宮第一小	9 網野南小、網野北小	16 大宮南小、大宮幼		
	3 網野中	10 橘小	17 島津小、網野幼		
	4 丹後中、丹後幼	11 宇川小	18 吉野小、丹波小		
5 大宮中	12 弥栄小、弥栄幼	19 間人小、豊栄小			
6 高龍小	13 久美浜小、久美浜中	20 かぶと山小、かぶと山幼			
7 教育委員会事務局	14 弥栄中	21 新山小、峰山幼			
○スクールガード・リーダー巡回・指導 警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 年間巡回活動等の実績：66回×5人＝330回 報償金・保険料（活動謝金、総合補償保険料） 1,757千円					
○学校の除雪活動 積雪時の登校上の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。 保険料（ボランティア活動保険）・修繕料（除雪機） 199千円					
主な財源	府補	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3）	1,166千円		
	諸収入	自動車事故損害賠償金	58千円		
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	3,000千円		
成果・課題	○各幼稚園・小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動や積雪時の除雪活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、園児、児童、生徒の安全につながっている。				
	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）やスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回の継続等により、更に安全体制の強化を図っていくことが必要である。				
	○通学路の安全性をより高めるため、関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校情報化推進事業	
細事業名	01 学校情報化推進事業			決算書	P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
32,782千円	32,794千円	12千円	99.9%	38,778千円	
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、電子黒板を導入し、ICTを活用した学習環境を推進する。				
主要な事務・事業の概要	市内全小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、市内全小学校の6年生教室に電子黒板等の整備を行った。				
	○需用費 1,697千円				
	・パソコン・校内LAN関連消耗品	17千円			
	・パソコン・校内LAN関連修繕費（44件）	1,680千円			
	○委託料 5,223千円				
	・サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料	3,533千円			
	・校務支援システム操作研修委託料	197千円			
	・各種システム保守委託料（校務支援、グループウェア）	1,426千円			
	・パソコン整備委託料（教職員異動に伴うパソコン設定作業）	67千円			
	○使用料及び賃借料 8,075千円				
・パソコン借上料	3,534千円				
・サーバーシステム借上料（8台）					
・ソフトウェア使用料	4,541千円				
・校務支援システム、ウイルス対策ソフト（1,530台分）ほか					
○備品購入費 17,787千円					
・電子黒板等購入（市内全小学校6年生23学級）					
・タッチパネル式電子黒板（23台）、タブレット型パソコン（23台）					
主な財源	市債	小学校施設整備事業債（過疎対策債）	17,700千円		
成果・課題	○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、全小中学校に整備した校内LAN、1,756台のパソコン（校務、普通教室、情報教室）及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。				
	○全小学校6年生教室へ電子黒板等の整備を行い、情報教育環境の充実を図った。				
	○新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	08学校再配置事業	
細事業名	01 学校再配置推進事業			決算書	P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,565千円	1,710千円	145千円	91.5%	3,307千円	
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。				
主要な事務・事業の概要	<p>学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に応じた児童の交流学習などを行ってきた。</p> <p>また、閉校式の実施及び閉校に伴う地域（旧校区）での取組を支援した。</p> <p>平成29年度閉校 新山小学校、丹波小学校</p> <p>○式典関連経費 219千円</p> <p>・消耗品費（式典用装飾花、看板等） 219千円</p> <p>○開校準備経費 1,346千円</p> <p>・報償費（校章・校歌作成記念品） 62千円</p> <p>・需用費（掲出用校旗、校名板修繕等） 119千円</p> <p>・手数料（ピアノ運搬手数料等） 132千円</p> <p>・委託料（設計委託料、校章等更新業務委託料） 374千円</p> <p>・備品購入費（式典用校旗、ステージ文字幕等） 659千円</p>				
主な財源	府補	未来づくり交付金（学校再配置推進経費）	500千円		
成果・課題	<p>○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画どおりに再配置できた。</p> <p>○引き続き、学校再配置基本計画の後期計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	09教科用図書採択事業	
細事業名	01 教科用図書採択事業			決算書	P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
40千円	40千円	0千円	100.0%	40千円	
目的	市立小学校で使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を行うため、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行う。				
主要な事務・事業の概要	<p>平成30年度から使用する小学校の教科用図書（特別の教科 道徳）について、公正かつ適正な採択を行うために、丹後教科用図書採択地区協議会において文部科学省の教科書目録に掲載された教科用図書を調査・研究した。</p> <p>○丹後教科用図書採択地区協議会分担金 40千円</p> <p>・構成団体（2市2町1組合）</p> <p>京丹後市・宮津市・伊根町・与謝野町教育委員会</p> <p>与謝野町宮津市中学校組合教育委員会</p> <p>・委員（20人）</p> <p>教育委員会教育長 4人</p> <p>教育委員会委員 16人</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>丹後教科用図書採択地区協議会からの選定結果に沿って、平成30年度から市立小学校で使用する教科用図書について、公正かつ適正な採択を行うことができた。</p>				
所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業
細事業名	01 就学支援・教育相談事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,724千円	1,745千円	21千円	98.7%	2,145千円
目的	児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○教育相談委託料 560千円 各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスや助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談事業や研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談会場 大宮庁舎内会議室 実施回数 毎月1回（80千円×月1回×7月（4月～10月）） ※11月以降は教育委員会の臨床心理士により実施した 相談件数 47件（延べ件数） 教育相談担当者研修（年3回）、心の教室相談員研修（年3回） 事例研修（2グループ（1グループ4人））各グループ5回実施 <p>○教育支援に係る発達検査備品購入費 909千円 ADOS-2自閉症診断検査日本語版スタートセット WISC-IV知能検査コンプリートセット、KABC-2発達検査基本セット</p> <p>○教育支援に係る発達検査用紙購入費（消耗品） 240千円 WISC-IV知能検査記録用紙、新版構音検査等</p> <p>○教育支援に係る発達検査器具借上料 15千円 日本語版感覚統合検査JAPAN感覚処理・行為機能検査</p>			
主な財源	府補	未来づくり交付金（就学支援・教育相談事業）	500千円	
成果・課題	<p>○専門性の高い臨床心理士による研修や教育相談を実施することによって、個別ケースの不登校の解消など、児童生徒の学校適応が促進された。</p> <p>○児童生徒の教育支援を適切に進める上で、発達検査の実施や分析について教員対象の研修を実施する必要がある。</p> <p>○不登校をさらに解消するため、教育相談を充実させる必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業
細事業名	02 教育支援センター管理運営事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
8,308千円	8,522千円	214千円	97.4%	8,628千円
目的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。			
主要な事務・事業の概要	<p>不登校等にある児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「麦わら」の指導員が学校訪問等を行うとともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行った。</p> <p>教育支援センター運営経費</p> <p>配置人数 5人 教育支援センター指導員</p> <p>配置体制 3人体制 指導員 ①週2日 1日7時間 1人 ②週3日 1日7時間 4人</p> <p>通所者 17人</p> <p>相談延べ件数 1,140件</p> <p>来所延べ人数 1,741人</p> <p>○共済費（社会保険料、労災保険料） 839千円</p> <p>○臨時職員賃金（指導員） 6,801千円</p> <p>○旅費（研修会出席） 11千円</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料） 235千円</p> <p>○役務費（電話代、切手代、クリーニング手数料、自動車損害保険料） 51千円</p> <p>○教育相談委託料 148千円 相談延べ件数 47件</p> <p>○バス運転委託料（野外体験学習） 24千円</p> <p>○備品購入費（エアコン、掃除機） 199千円</p>			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	5,000千円	
成果・課題	<p>○専門性の高い指導員による児童生徒等への学習・生活支援や、臨床心理士によるカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰、社会的自立を図ることができた。</p> <p>○教育支援センターの機能や役割について、児童生徒や保護者への更なる周知が必要である。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業
細事業名	01 小中一貫教育推進事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
530千円	695千円	165千円	76.2%	695千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行った。また、モデルカリキュラムやモデルプラン等の活用を図るとともに、その成果・課題、児童生徒の状況等を把握・評価しながら小中一貫教育推進基本計画の見直しと改訂を行った。</p> <p>○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） 99千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会委員 13人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等） 協議会の開催 2回 調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理 <p>○学校教育連携専門部会（印刷製本費） 299千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門部会 学校運営部員 6人 カリキュラム作成部員 4人 開催回数 学校運営部会 3回 カリキュラム作成部会 3回 外国語（3回） <p>○教育フォーラムの開催（消耗品費） 1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育フォーラム（参加者：101人） 開催日：平成29年11月14日（火） 場所：大宮中学校 <p>○小中一貫教育全国サミット視察研修（旅費、参加資料代等） 131千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年1月25日・26日 開催地：京都市（参加者：14人） 			
主な財源				
成果・課題	<p>○平成28年度より小中一貫教育が市内全域での実施となり、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。</p> <p>○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ねた。</p> <p>○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業
細事業名	02 小中一貫教育実践事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
6,132千円	6,743千円	611千円	90.9%	7,168千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の推進に向け、市内全域で小中一貫教育を実践する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 4,480千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 峰山学園（合唱祭、清掃活動、部活・授業体験、リーフレット作成等） 大宮学園（合唱祭、清掃活動、情報モラル研修、リーフレット作成等） 網野学園（合唱祭、部活動体験、リーフレット作成等） 丹後学園（合唱祭、小小連携交流会、教育講演会、リーフレット作成等） 弥栄学園（合唱祭、心の文化発表会、部活動体験、小中合同授業等） 久美浜学園（合唱祭、小小連携交流会、リーフレット作成、部活動体験等） <p>・特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,652千円</p> <p>実施校：小学校18校、中学校5校</p> <p>主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験、心の学習、ものづくり体験 地域連携、性の学習等</p>			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	4,000千円	
成果・課題	<p>○小中一貫教育の実施により、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法を統一することで、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。</p> <p>○合唱祭等の小中連携、合同授業等の小小連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	01 学校支援地域本部事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,151千円	5,262千円	111千円	97.8%	5,262千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人々の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <p>○実施期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日</p> <p>○実施場所 市内全ての小学校（19校）・中学校（6校）・幼稚園（6園）</p> <p>○地域コーディネーターの配置 6人（各地域公民館）</p> <p>○ボランティア登録者数 578人（平成29年度新規登録者数32人）</p> <p>○広報誌の発行 2回（ボランティア募集・活動報告）</p> <p>○ボランティア活動</p> <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」の講師、部活動指導支援） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） <p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校区 807日／3,289人 ・大宮中学校区 121日／ 232人 ・網野中学校区 896日／5,639人 ・丹後中学校区 650日／3,479人 ・弥栄中学校区 299日／ 596人 ・久美浜中学校区 509日／3,388人 <p style="text-align: right;">合計 延べ16,623人</p> <p>○地域コーディネーター謝金 4,367千円</p> <p>○地域コーディネーター旅費 395千円</p> <p>○消耗品、印刷製本費 385千円</p> <p>○使用料（有料道路通行料） 4千円</p>			
主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業補助金（2/3）	3,966千円	
成果・課題	<p>○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。</p> <p>○地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」体制に発展させる必要がある。</p> <p>○学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握し、地域特性を生かした人材（ボランティア登録者）をより多く確保していく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	02 学習支援体制整備事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,743千円	1,875千円	132千円	92.9%	2,934千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。			
主要な事務・事業の概要	<p>地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するとともに、土曜日を活用した教育活動の実証研究を行った。</p> <p>○教育活動の実証研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の放課後学習支援 <ul style="list-style-type: none"> 小学生放課後わくわく自習室（運営委託料） 175千円 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後等に学習支援を行った。 実施地区（地域）：宇川連合区、佐野甲区、奥大野区 ・中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 1,073千円 <ul style="list-style-type: none"> 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。 ・土曜日を活用した教育活動（消耗品費、役務費） 495千円 <ul style="list-style-type: none"> 第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の実証研究を全小中学校で実施した。 			
主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）	832千円	
	府委	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費委託金（10/10）	120千円	
成果・課題	<p>○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を3地区（地域）で継続実施することで、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。</p> <p>○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習支援を行うことができた。</p> <p>○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	03 授業実践力向上対策事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
353千円	452千円	99千円	78.0%	452千円
目的	授業実践力開発講座、小中一貫検証講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>教職員が指導理論を学ぶ授業実践力開発講座及び検証講座を実施した。また、小中学校教員が実践課題を克服し、創意工夫、改善を加えた授業への実践力を身に付けるため、教育実践力サポート講座を実施した。</p> <p>○授業実践力開発講座（講師謝金ほか） 263千円 経験豊富な教職員をコーディネーターとして委嘱し、小グループによる指導案検討のワークショップや公開授業を実施した。また、市外先進校を視察し、学習指導や学級経営の在り方について研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 開催回数 全7回（うち1回が市外先進校視察） 参加者 12人（うち小学校8人、中学校4人） <p>○授業実践力小中一貫検証講座（講師謝金） 60千円 授業力の検証に資する講座として実施した。授業構想、実践と評価などについて、講師の指導助言も得ながら、研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授 開催回数 2回 参加者 45人（弥栄小学校9人、弥栄学園36人） <p>○教育実践力サポート講座（講師謝金） 30千円 各講座において、専門性の高い講師による指導により参加者の実践力を高め、講座での学びを勤務校において広げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施教科 音楽（4回）、外国語（2回） 学級経営（1回）、算数（1回） 参加者 延べ57人 			
主な財源				
成果・課題	<p>○大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動の展開、質の高い授業づくり及び学級運営など、授業実践力等の向上に資することができた。</p> <p>○小中学校の教員がそれぞれの授業を参観し、感想や意見交流をすることで、授業実践についての学びが深まり、義務教育9年間を見通した教員の指導力向上に資することができた。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業
細事業名	01 いじめ防止啓発推進事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
194千円	335千円	141千円	57.9%	335千円
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。</p> <p>○報償費 51千円 ・いじめ防止講演会講師謝金 開催日：平成29年11月21日（火） 会場：アグリセンター大宮 講師：医療法人 竹村診療所 臨床心理室長 竹村 洋子氏 参加者：72人</p> <p>○需用費 58千円 ・印刷製本費 36千円 いじめ防止啓発グッズ（PRカードシール 児童生徒用4,450枚） ・消耗品費（講演会花代、事務用品） 7千円 ・修繕料（いじめ防止懸垂幕） 15千円</p> <p>○役務費 25千円 ・いじめ相談専用電話設置費 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件</p> <p>○インターネットモラル研修会 60千円 開催日：平成29年8月8日（火） 会場：アグリセンター大宮 講師：ソーシャルメディア研究会 竹内 義博氏 参加者：48人</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業
細事業名	02 いじめ防止対策等運営事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
212千円	390千円	178千円	54.3%	390千円
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人） 18千円 保育所、幼稚園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：平成29年5月25日（木） 会場：京丹後市役所峰山庁舎 ・報償費（委員謝金） 16千円 ・旅費（費用弁償） 2千円</p> <p>○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） 194千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する審議を行った。 開催日：第1回 平成29年11月4日（土） 第2回 平成30年3月17日（土） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬 112千円 ・旅費（費用弁償） 66千円 ・消耗品費 16千円</p>			
主な財源	国補	教育支援体制整備事業費補助金（1/3）	64千円	
成果・課題	<p>○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめの防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14学校跡施設管理事業
細事業名	01 学校跡施設管理事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	29 効率的・効果的な行財政運営		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,322千円	3,410千円	88千円	97.4%	1,902千円
目的	学校再配置により閉校となった学校施設の維持管理を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>○閉校施設修繕料（9施設） 657千円 修繕施設：旧五箇小・旧大宮第三小・旧三津小・旧郷小・旧橋小 旧黒部小・旧川上小・旧湊小・旧宇川中</p> <p>○各種手数料 450千円 貯水槽法定検査、旧三津小学校の備品整理経費（ピアノ運搬、ピアノ調律、耐火金庫運搬設置、粗大ごみ引取、廃家電処理、備品処分等）</p> <p>○建物火災保険料 183千円</p> <p>○各種委託料 448千円 雑木伐採、貯水槽保守点検</p> <p>○工事請負費 1,039千円 旧湊小学校管理棟屋上防水改修工事 445千円 旧湊小学校給食棟屋上防水改修工事 594千円</p> <p>○積立金 545千円 学校教育施設整備基金積立金 建物賃貸借料をもとに国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる 旧大宮第三小学校分 129千円 旧三津小学校分 416千円</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○学校跡施設の管理を適切に行った。 ○企業立地推進のため、旧三津小学校を民間企業へ有償貸与し、学校跡施設の有効活用を図った。 ○利活用が進まない施設については、施設の耐震性及び老朽化の状況等を考慮し、解体も含めて検討する必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15児童生徒国際交流事業
細事業名	01 児童生徒国際交流事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,345千円	3,602千円	257千円	92.8 %	4,129千円
目的	語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、国際交流事業を推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○小学生の国際交流 73千円 平成27年6月のケネディ駐日大使の来丹を契機に、鳴き砂の浜があるマサチューセッツ州のマンチェスター・メモリアル小学校と島津小学校との交流を行い、児童が製作する作品の交換等を行った。 消耗品費、通信運搬費、ビデオ撮影・編集委託料</p> <p>○小中学生文化体験（消耗品費） 8千円 小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施した。</p> <p>○中学生の海外派遣 3,264千円 学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため海外へ派遣した。 派遣先：ニュージーランド ニュープリマス市 スポーツウッド・カレッジ 派遣期間：平成30年3月14日（水）～22日（木）の8泊9日間 派遣生徒：中学2年生 15人（選考により決定）</p> <p>・海外派遣 3,033千円 報償物品、旅費、燃料費、通信運搬費、バス運転委託料 有料道路通行料、中学生海外派遣事業費補助金 ほか</p> <p>・その他（事前研修会等）経費 231千円 講師謝金、消耗品費 ほか</p>			
主な財源	繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金	3,264千円	
成果・課題	<p>○小学生国際交流、小中学生文化体験及び中学生海外派遣を行い、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、国際交流事業を推進することができた。</p> <p>○国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	50事務局一般経費
細事業名	01 事務局一般経費			決算書 P.140
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,949千円	5,989千円	40千円	99.3 %	8,769千円
目的	教育委員会事務局の円滑な運営を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>教育委員会事務局の運営に要する経費、所属する協議会への負担金等を支出した。</p> <p>○臨時職員経費 2,774千円 ・臨時職員 2人</p> <p>○報償費 40千円 ・教育委員会活動点検評価謝金 2人</p> <p>○旅費等 394千円 ・近畿都市教育長協議会、京都府都市教育長協議会等 有料道路通行料</p> <p>○教育委員会交際費 745千円 ・教育委員会交際費、激励金</p> <p>○教育委員会維持管理経費（消耗品費、印刷製本費等） 376千円</p> <p>○公用車の維持管理及び修理代 1,462千円</p> <p>○各協議会、団体への負担金 158千円 （全国都市教育長協議会負担金、近畿都市教育長協議会負担金、 定時制通信教育振興会負担金 等）</p>			
主な財源				
成果・課題	教育委員会事務局の運営について、経費削減に努めながら円滑な事務執行ができた。			
所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	01奨学金事業	
細事業名	01 奨学金事業			決算書	P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
23,672千円	23,747千円	75千円	99.6%	26,655千円	
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。				
主要な事務・事業の概要	<p>経済的に困窮している世帯（家庭）の勉学意欲のある高等学校、高等専門学校、専修学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒、大学生、短期大学生、大学院生を対象に奨学金を給付した。また、平成29年度大学等在学者及び平成30年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奨学金選考・検討委員会委員の報酬及び費用弁償 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 80千円 委員 4千円（半日）×6人×3回 72千円 ・費用弁償 8千円 ○給付奨学金 17,560千円 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生 5,200千円 <ul style="list-style-type: none"> 月額5千円×12月×86人 月額5千円×8月×1人 ・大学生等 12,360千円 <ul style="list-style-type: none"> 月額10千円×12月×103人 （大学73人、短期大学8人、専修学校21人、高等専門学校1人） ○貸付奨学金 6,032千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修学支援金（4人） 3,232千円 <ul style="list-style-type: none"> 大学生等 1,000千円×3人 大学生等 232千円×1人 ・入学支度金（4人） 2,800千円 <ul style="list-style-type: none"> 進学予定者 700千円×4人 				
主な財源	繰入金	奨学基金繰入金	17,560千円		
	繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金	6,032千円		
成果・課題	<p>○厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。</p> <p>○高校生及び大学生等を対象とした給付奨学金について、国・府による支援制度を踏まえ、対象者等を一定整理し、平成30年度より修学困難な大学生等を支援する制度へ見直しを行った。</p> <p>○奨学基金をより長く運用していくため、公的支援制度の動向を注視する必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局／教育総務課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	02奨学基金														
細事業名	01 奨学基金			決算書	P.142													
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額														
984千円	984千円	0千円	100.0%	228千円														
目的	経済的理由により高等学校、大学等への修学が困難な者に対し奨学金を給付することを目的とした奨学基金への積立金																	
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○奨学基金積立金 960千円 （旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分等） ○奨学基金積立金（利子分） 24千円 <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成28年度末 現在高 ①</th> <th colspan="3">平成29年度中増減額</th> <th rowspan="2">平成29年度末 現在高 ①-②+(③+④)</th> </tr> <tr> <th>繰入金 ②</th> <th>運用利子 ③</th> <th>積立金 ④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">149,257</td> <td style="text-align: center;">17,560</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">960</td> <td style="text-align: center;">132,681</td> </tr> </tbody> </table> <p>(充当：1事業) ・奨学金給付等事業 17,560千円</p>					平成28年度末 現在高 ①	平成29年度中増減額			平成29年度末 現在高 ①-②+(③+④)	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	149,257	17,560	24	960	132,681
平成28年度末 現在高 ①	平成29年度中増減額			平成29年度末 現在高 ①-②+(③+④)														
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④															
149,257	17,560	24	960	132,681														
主な財源	財産収入	奨学基金利子収入	24千円															
	諸収入	奨学資金貸付償還金	220千円															
	諸収入	奨学資金貸付償還金滞納繰越分	730千円															
成果・課題	/																	
所管課	総務部／財政課																	

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	01外国語指導助手招致事業	
細事業名	01 外国語指導助手招致事業			決算書	P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
25,858千円	26,014千円	156千円	99.4%	27,071千円	
目的	外国青年を外国語指導助手(ALT)として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>小中学校において外国語教育及び国際理解教育を促進するため、自治体国際化協会のJETプログラム事業によるあっせんを受け、外国語指導助手を招致・任用し、その経費を支出した。</p> <p>○報酬等 25,040千円 ・外国語指導助手6人の報酬、社会保険料 ・外国語指導助手支援員の謝金、賃金等</p> <p>○旅費等 132千円 ・研修旅費(6人分)</p> <p>○住居に要する費用等 109千円 ・火災保険料、借家更新料等</p> <p>○負担金 577千円 ・自治体国際化協会負担金</p>				
主な財源	諸収入	ふるさと応援基金繰入金	10,000千円		
成果・課題	外国語指導助手を各中学校に1人ずつ配置することで、児童・生徒に生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進につなげることができた。				
所管課	教育委員会事務局/教育総務課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	02国際交流員招致事業	
細事業名	01 国際交流員招致事業			決算書	P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
4,265千円	4,350千円	85千円	98.0%	4,350千円	
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。				
主要な事務・事業の概要	<p>国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行った。</p> <p>○報酬、共済費 4,041千円 ・国際交流員報酬(1人) 3,520千円 (280千円×4か月(平成29年4月~平成29年7月)) (300千円×8か月(平成29年8月~平成30年3月)) ・社会保険料、雇用保険料 521千円</p> <p>○旅費 128千円 ・国際交流員等の研修(費用弁償、普通旅費)</p> <p>○自治体国際化協会負担金 96千円 ・国際交流員人員割、傷害保険負担金</p>				
主な財源	諸収入	保険解約返戻金	1千円		
成果・課題	国際交流員を配置し、国際交流関係事業の実施や児童生徒の国際理解教育の推進を行うことができた。				
所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業
細事業名	01 小学校管理運営事業			決算書 P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
144,158千円	146,699千円	2,541千円	98.2%	142,573千円
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。			
主要な事務・事業の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 106,922千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、コピー、灯油ほか） 32,901千円 ・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書印刷ほか） 558千円 ・電気代 48,653千円 ・水道料 24,234千円 ・修繕費（印刷機、ブルーヒーター等の修繕） 576千円 ○役務費 5,059千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 3,627千円 ・手数料（ピアノ調律、ミシン調整、ごみ処理ほか）、保険料 1,432千円 ○委託料 25,692千円 <ul style="list-style-type: none"> ・プール水質検査委託料 226千円 ・作業員業務人材派遣委託料（12校、12人） 25,192千円 ・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料 274千円 ○使用料及び賃借料 1,297千円 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 284千円 ・印刷機借上料、コピー機借上料 1,013千円 ○備品購入費 4,531千円 <ul style="list-style-type: none"> ・保健器具、体育館ステージ前幕、通級指導用備品、ストーブほか ○負担金、補助及び交付金 657千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 			
主な財源				
成果・課題	<p>○教育環境の整備や維持管理など、児童が安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業
細事業名	02 小学校事務補助経費			決算書 P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,412千円	1,543千円	131千円	91.5%	1,543千円
目的	学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し、学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>複数配置校 大宮第一小学校 事務補助（1人） （1日7時間・週4日勤務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時職員賃金 1,190千円 ○共済費（社会保険料、労災保険料） 222千円 			
主な財源				
成果・課題	<p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業																													
細事業名	01 小学校施設改修事業			決算書	P.142																												
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																															
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																													
486,397千円	486,410千円	13千円	99.9%	501,931千円																													
目的	老朽化している学校施設が多い中、市内小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。																																
主要な事務・事業の概要	<table border="0"> <tr> <td>○委託料</td> <td>16,765千円</td> </tr> <tr> <td>・小学校普通教室等空調化工事実施設計業務(長岡・橋・吉野)</td> <td>6,977千円</td> </tr> <tr> <td>・小学校普通教室等空調化工事工事監理業務(峰山・いさなご・新山・網野北・間人・久美浜小)</td> <td>7,603千円</td> </tr> <tr> <td>・いさなご小学校体育館窓開閉装置改修工事設計業務</td> <td>195千円</td> </tr> <tr> <td>・網野南小学校教室棟屋上防水改修工事設計業務</td> <td>313千円</td> </tr> <tr> <td>・久美浜小学校消火ポンプ取替工事設計業務</td> <td>256千円</td> </tr> <tr> <td>・いさなご小学校浄化槽清掃業務</td> <td>1,421千円</td> </tr> <tr> <td>○工事請負費</td> <td>469,632千円</td> </tr> <tr> <td>・小学校普通教室等空調化工事(峰山・いさなご・新山・網野北・間人・久美浜)</td> <td>416,200千円</td> </tr> <tr> <td>・いさなご小学校下水道接続及び雑排水汚水処理施設解体等工事</td> <td>33,089千円</td> </tr> <tr> <td>・網野南小学校教室棟屋上防水改修工事</td> <td>7,798千円</td> </tr> <tr> <td>・いさなご小学校体育館窓開閉装置改修工事</td> <td>2,571千円</td> </tr> <tr> <td>・久美浜小学校消火ポンプ取替工事</td> <td>3,434千円</td> </tr> <tr> <td>・その他工事(19件)</td> <td>6,540千円</td> </tr> </table>					○委託料	16,765千円	・小学校普通教室等空調化工事実施設計業務(長岡・橋・吉野)	6,977千円	・小学校普通教室等空調化工事工事監理業務(峰山・いさなご・新山・網野北・間人・久美浜小)	7,603千円	・いさなご小学校体育館窓開閉装置改修工事設計業務	195千円	・網野南小学校教室棟屋上防水改修工事設計業務	313千円	・久美浜小学校消火ポンプ取替工事設計業務	256千円	・いさなご小学校浄化槽清掃業務	1,421千円	○工事請負費	469,632千円	・小学校普通教室等空調化工事(峰山・いさなご・新山・網野北・間人・久美浜)	416,200千円	・いさなご小学校下水道接続及び雑排水汚水処理施設解体等工事	33,089千円	・網野南小学校教室棟屋上防水改修工事	7,798千円	・いさなご小学校体育館窓開閉装置改修工事	2,571千円	・久美浜小学校消火ポンプ取替工事	3,434千円	・その他工事(19件)	6,540千円
○委託料	16,765千円																																
・小学校普通教室等空調化工事実施設計業務(長岡・橋・吉野)	6,977千円																																
・小学校普通教室等空調化工事工事監理業務(峰山・いさなご・新山・網野北・間人・久美浜小)	7,603千円																																
・いさなご小学校体育館窓開閉装置改修工事設計業務	195千円																																
・網野南小学校教室棟屋上防水改修工事設計業務	313千円																																
・久美浜小学校消火ポンプ取替工事設計業務	256千円																																
・いさなご小学校浄化槽清掃業務	1,421千円																																
○工事請負費	469,632千円																																
・小学校普通教室等空調化工事(峰山・いさなご・新山・網野北・間人・久美浜)	416,200千円																																
・いさなご小学校下水道接続及び雑排水汚水処理施設解体等工事	33,089千円																																
・網野南小学校教室棟屋上防水改修工事	7,798千円																																
・いさなご小学校体育館窓開閉装置改修工事	2,571千円																																
・久美浜小学校消火ポンプ取替工事	3,434千円																																
・その他工事(19件)	6,540千円																																
主な財源	府補	未来づくり交付金(学校再配置推進経費)	689千円																														
	市債	小学校施設整備事業債(過疎対策債)	469,600千円																														
	市債	小学校施設整備事業債(合併特例債)	2,200千円																														
	市債	小学校施設整備事業債(緊急防災・減災事業債)	3,600千円																														
成果・課題	○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画(行動計画)に則り、個々の学校施設の現状を把握し、今後の長寿命化計画の作成を検討する必要がある。																																
所管課	教育委員会事務局/教育総務課																																

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業																			
細事業名	01 小学校施設改修事業(繰越)			決算書	P.142																		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																					
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																			
117,340千円	131,744千円	14,404千円	89.0%	131,744千円																			
目的	学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。																						
主要な事務・事業の概要	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">島津小学校及び網野南小学校の普通教室等の空調化工事を行う。また、長岡小学校プールの循環濾過装置の改修を行う。</td> </tr> <tr> <td>○委託料</td> <td>2,624千円</td> </tr> <tr> <td>島津小学校普通教室等空調化工事監理業務</td> <td>972千円</td> </tr> <tr> <td>網野南小学校普通教室等空調化工事監理業務</td> <td>1,166千円</td> </tr> <tr> <td>長岡小学校プールろ過装置交換等工事設計・工事監理業務</td> <td>486千円</td> </tr> <tr> <td>○工事請負費</td> <td>114,716千円</td> </tr> <tr> <td>島津小学校普通教室等空調化工事</td> <td>26,750千円</td> </tr> <tr> <td>網野南小学校普通教室等空調化工事</td> <td>81,162千円</td> </tr> <tr> <td>長岡小学校プールろ過装置交換等工事</td> <td>6,804千円</td> </tr> </table>					島津小学校及び網野南小学校の普通教室等の空調化工事を行う。また、長岡小学校プールの循環濾過装置の改修を行う。		○委託料	2,624千円	島津小学校普通教室等空調化工事監理業務	972千円	網野南小学校普通教室等空調化工事監理業務	1,166千円	長岡小学校プールろ過装置交換等工事設計・工事監理業務	486千円	○工事請負費	114,716千円	島津小学校普通教室等空調化工事	26,750千円	網野南小学校普通教室等空調化工事	81,162千円	長岡小学校プールろ過装置交換等工事	6,804千円
島津小学校及び網野南小学校の普通教室等の空調化工事を行う。また、長岡小学校プールの循環濾過装置の改修を行う。																							
○委託料	2,624千円																						
島津小学校普通教室等空調化工事監理業務	972千円																						
網野南小学校普通教室等空調化工事監理業務	1,166千円																						
長岡小学校プールろ過装置交換等工事設計・工事監理業務	486千円																						
○工事請負費	114,716千円																						
島津小学校普通教室等空調化工事	26,750千円																						
網野南小学校普通教室等空調化工事	81,162千円																						
長岡小学校プールろ過装置交換等工事	6,804千円																						
主な財源	市債	小学校施設整備事業債(合併特例債)	111,400千円																				
成果・課題	施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。																						
所管課	教育委員会事務局/教育総務課																						

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細事業名	02 小学校再配置施設整備事業			決算書 P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
120,351千円	120,400千円	49千円	99.9%	141,687千円
目的	学校再配置計画に基づく平成30年4月の丹波小学校と新山小学校の再配置に伴い、児童数が増加する新山小学校校舎の増改築工事を行う。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○建築確認手数料 170千円 ○委託料 3,637千円 <ul style="list-style-type: none"> ・新山小学校 増築等工事設計意図伝達業務 399千円 増築等工事監理業務 3,238千円 ○工事請負費 116,544千円 <ul style="list-style-type: none"> ・新山小学校 増築等工事（建築主体・機械・電気） 114,920千円 光ケーブル支障移転工事 453千円 支障建物等撤去工事 701千円 体育館裏外周フェンス移設等工事 470千円 <p>《新山小学校増築等工事概要》 増築棟 鉄筋コンクリート造2階建 276㎡ 1F 普通教室・倉庫・トイレ 2F 図書室・トイレ 職員用駐車場整備</p>			
主な財源	国債	公立学校施設整備費負担金(5.5/10)	36,583千円	
	市債	小学校施設整備事業債(過疎対策債)	83,500千円	
成果・課題	学校再配置の拠点校となる学校施設において、必要な施設整備を実施し、児童の学習環境を整備することができた。			
所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細事業名	02 小学校再配置施設整備事業(繰越)			決算書 P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
22,166千円	26,580千円	4,414千円	83.3%	26,580千円
目的	学校再配置に伴い拠点校となる学校施設の改修を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。			
主要な事務・事業の概要	<p>平成30年度の学校再配置により拠点校となる新山小学校の学校施設において、既存棟児童用トイレの洋式化を行う。また、新山小学校増築工事に係る設計を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 6,900千円 <ul style="list-style-type: none"> 新山小学校増築等工事実施設計業務 6,166千円 新山小学校既存棟トイレ改修工事監理業務 734千円 ○工事請負費 15,266千円 <ul style="list-style-type: none"> 新山小学校既存棟トイレ改修工事 15,266千円 			
主な財源	国補	学校施設環境改善交付金	5,050千円	
	市債	小学校施設整備事業債(合併特別債)	16,200千円	
成果・課題	学校再配置の拠点校となる新山小学校の既存棟トイレの洋式化により、教育環境が改善された。			
所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	04児童教職員健康管理事業
細事業名	01 児童教職員健康管理事業			決算書 P.142
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
9,151千円	10,104千円	953千円	90.5%	10,680千円
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の健康の保持増進と小学校の教育活動における安全な環境を整える。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費（歯みがき指導教室講師謝金・大宮南小） 47千円 ○需用費（保健衛生消耗品、医薬材料ほか） 1,209千円 ○委託料 6,974千円 <ul style="list-style-type: none"> ・児童各種検診・検査 5,433千円 <ul style="list-style-type: none"> 心臓検診委託料 1次 849人（1・4年、経過検診者） 2次 135人 眼科検診委託料 2,606人 耳鼻科検診委託料 2,595人 尿検査委託料（春） 1次 2,604人 2次 99人 尿検査委託料（秋） 1次 2,604人 2次 102人 血液検査委託料 484人（4年、経過観察者） 脊柱側彎症検診委託料 4人（校医抽出者） 結核検診委託料 2人（精密検査該当者） ・教職員健康診断委託料 1,306千円 ・教職員結核検診委託料 235千円 ○使用料及び賃借料 921千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料（検診時医師送迎） 59千円 ・機械借上料（AEDリース） 862千円 全校設置済（小学校19校） 			
主な財源				
成果・課題	AEDの全小学校配備をはじめ、健康診断、結核検診の実施など、児童及び教職員の健康の保持増進、学校の安全な環境整備に努めた。			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業																														
細事業名	01 小学校スクールバス運行管理事業			決算書 P.144																														
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																														
96,719千円	96,736千円	17千円	99.9%	98,938千円																														
目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。																																	
主要な事務・事業の概要	<p>遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス運転委託料 6,998千円 <ul style="list-style-type: none"> ※バスの運転のみを業者委託したもの。 高龍小（佐濃南線） 1台 ○スクールバス運行管理委託料 89,358千円 <ul style="list-style-type: none"> ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの。 <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>いさなご小</td> <td>3台</td> <td>橘小</td> <td>1台</td> <td>久美浜小</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>丹波小</td> <td>1台</td> <td>島津小</td> <td>1台</td> <td>高龍小</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>3台</td> <td>間人小</td> <td>2台</td> <td>かぶと山小</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>網野北小</td> <td>1台</td> <td>宇川小</td> <td>1台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3台</td> <td>弥栄小</td> <td>3台</td> <td>計</td> <td>27台</td> </tr> </table> ○バス停維持管理経費 10千円 <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料、土地借上料（15.66㎡） ○ドライブレコーダー設置経費（25台） 353千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、備品購入費 				いさなご小	3台	橘小	1台	久美浜小	1台	丹波小	1台	島津小	1台	高龍小	3台	大宮南小	3台	間人小	2台	かぶと山小	4台	網野北小	1台	宇川小	1台			網野南小	3台	弥栄小	3台	計	27台
いさなご小	3台	橘小	1台	久美浜小	1台																													
丹波小	1台	島津小	1台	高龍小	3台																													
大宮南小	3台	間人小	2台	かぶと山小	4台																													
網野北小	1台	宇川小	1台																															
網野南小	3台	弥栄小	3台	計	27台																													
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	40,000千円																															
	諸収入	市営バス運行収入	573千円																															
	諸収入	市営バス回数券販売収入	169千円																															
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバス運行を行うため、運行管理委託業者への指導の徹底及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。 																																	
所管課	教育委員会事務局／学校教育課																																	

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業
細事業名	02 小学校スクールバス購入事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,025千円	6,108千円	83千円	98.6%	10,213千円
目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた児童の安全な通学手段を確保する。			
主要な事務・事業の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた児童の通学のためにスクールバスを購入した。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○備品購入費(スクールバス1台) <ul style="list-style-type: none"> ・網野南小学校 (29人乗り1台) ○購入に係る諸経費 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料、保険料、自動車重量税 	5,895千円		130千円
主な財源	市債	小学校スクールバス整備事業債(過疎対策債)	5,800千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○スクールバスの安全な運行を確保するため、計画的に車両を更新する必要がある。 			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業											
細事業名	03 小学校通学支援事業			決算書 P.144											
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実													
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額											
383千円	435千円	52千円	88.0%	435千円											
目的	遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。														
主要な事務・事業の概要	○遠距離通学補助金 383千円														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>対象児童数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮南</td> <td>14人</td> <td>201千円</td> </tr> <tr> <td>宇川</td> <td>12人</td> <td>182千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26人</td> <td>383千円</td> </tr> </tbody> </table>			小学校名	対象児童数	補助金額	大宮南	14人	201千円	宇川	12人	182千円	計	26人	383千円
小学校名	対象児童数	補助金額													
大宮南	14人	201千円													
宇川	12人	182千円													
計	26人	383千円													
主な財源															
成果・課題	遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図った。														
所管課	教育委員会事務局/学校教育課														

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	06小学校施設管理事業
細事業名	01 小学校施設管理事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
26,284千円	26,483千円	199千円	99.2%	26,829千円
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。			
主要な 事務・ 事業の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設等修繕費 12,415千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕 ○各種検査等手数料 121千円 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査 ○建物火災保険料 595千円 ○施設保守管理等委託料(14業務) 12,084千円 <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、エレベーター保守点検、給食用リフト保守点検、学校警備、プール給排水設備保守点検、給食施設消毒等業務、プール循環点検、雑木伐採、貯水槽保守点検、グリストラップ処理、PCB等分析 ○施設用地借上料 150千円 <ul style="list-style-type: none"> ・いさなご小学校(学童農園用地ほか 751.22㎡) ○施設修繕のための原材料、消耗品 273千円 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド用山土、砂、修繕用木材等 ○網野北小学校芝生化事業 646千円 <ul style="list-style-type: none"> ・芝生肥料、草刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入芝生目土作業委託料 			
主な財源				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。 			
所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	01小学校教育振興事業
細事業名	01 小学校教育振興事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
26,471千円	27,461千円	990千円	96.3%	27,339千円
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。			
主要な 事務・ 事業の 概要	<ul style="list-style-type: none"> 教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。 ○報償費 1,306千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品(366人) 276千円 ・卒業記念品(469人) 1,030千円 ○旅費 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償(大地の学習講師費用弁償) ○需用費 17,372千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 17,156千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品、児童会活動費、理科実験費、道徳副読本、部活動費、学力検査、道徳教科書・指導書(教職員用)ほか ・燃料費(大地の学習研修送迎車用燃料) 2千円 ・印刷製本費 214千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」 500部(3年生) ○委託料 4,728千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料、児童移送業務委託料 ○使用料及び賃借料 3,048千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料 ○負担金、補助及び交付金 14千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加負担金(山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会) <ul style="list-style-type: none"> 開催日:平成29年10月28日(土) 場 所:但馬ドーム周辺駅伝コース 参加校:長岡小、網野北小、橘小 参加人数:25人(5チーム) 			
主な財源				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。 			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業
細事業名	01 小学校教育振興備品整備事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
11,131千円	11,557千円	426千円	96.3%	11,357千円
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。			
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 199千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料（教材備品の修繕） ○役務費 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア再設定手数料 ○使用料及び賃借料 103千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料（全小学校） ○備品購入費 10,826千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 4,227千円 ・学校図書整備 4,534千円 ・理科教育等設備整備（理科・算数備品） 2,065千円 			
主な財源	国補 繰入金	理科教育設備整備費等補助金（1/2） ふるさと応援基金繰入金	1,012千円 5,000千円	
成果・課題	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科（算数）教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った学習環境を整えることができた。</p> <p>○新学習指導要領の導入を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	03小学校就学援助事業
細事業名	01 小学校就学援助事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
19,042千円	19,441千円	399千円	97.9%	20,711千円
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○就学援助費 17,824千円 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護認定者 21人（H28 26人） 225千円 <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行費 115千円 医療費 110千円 ・準要保護認定者 243人（H28 259人） 16,141千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 4,692千円 給食費 10,226千円 修学旅行費 1,070千円 医療費 153千円 ・準要保護認定者（被災児童）2人（H28 2人） 118千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 30千円 給食費 88千円 ※申請者数 297人（H28 314人） 認定者数 266人（H28 287人） ・平成30年度入学者新入学児童生徒学用品費入学前支給分 1,340千円 支給者数 33人（H29から新規） ※平成30年3月16日支給 ○特別支援教育就学奨励費 1,218千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 40人（H28 46人） 1,218千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 262千円 給食費 822千円 修学旅行費 134千円 			
主な財源	国補 国補	就学援助費補助金（1/2） 特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）	109千円 595千円	
成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業			
細事業名	01 小学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.144			
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実					
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額			
48,324千円	48,645千円	321千円	99.3%	52,453千円			
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。						
主要な 事務・ 事業の 概要	○介護職員兼学校図書館支援加配		13人	(1日7時間45分、週5日勤務)			
	○介護職員		14人	(1日7時間、週5日勤務)			
	○心の教室相談員兼学校図書館支援加配		1人	(1日7時間、週5日勤務)			
	心の教室相談員：大宮第一小学校						
	学校図書館支援加配：峰山小学校						
	○講師(複式加配)：丹波小学校		1人	(1日7時間)			
	○学校図書館支援加配		2人	(1日7時間)			
	いさなご、丹波、長岡、吉野小学校に週1日勤務						
	大宮南小学校に週1日勤務(学校事務補助と兼務)						
	・臨時職員賃金		39,862千円				
・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料)		7,091千円					
・事務費(校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金)		18千円					
・委託料(児童の看護・介護委託料)		1,353千円					
配置一覧							
学校名	介護	相談員	講師	学校名	介護	相談員	講師
峰山小	2人			豊栄小	1人		
新山小	3人			間人小	1人		
丹波小	1人		1人	宇川小	1人		
大宮第一小	3人	1人		吉野小	1人		
大宮南小	2人			弥栄小	1人		
網野北小	2人			久美浜小	1人		
網野南小	2人			高龍小	1人		
島津小	1人			かぶと山小	2人		
橋小	2人			計	27人	1人	1人
主な財源							
成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。						
所管課	教育委員会事務局/学校教育課						

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業
細事業名	02 小学校教育推進活動実践事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
2,237千円	2,480千円	243千円	90.2%	2,230千円
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。			
主要な 事務・ 事業の 概要	○教育実践研究指定事業			
	・もうすぐ1年生体験入学推進事業		80千円	
	府指定：かぶと山小学校			
	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動		1,217千円	
	・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業(府指定：全校)		547千円	
	・総合的な学習活動推進事業(市指定：全校)		670千円	
	○サイエンス・パートナーシップ校		36千円	
	児童の科学技術、理科、算数への興味・関心や知的探究心を育成するため、京都工芸繊維大学と連携し「理科わくわく体験教室」を実施。			
	実施校：久美浜小学校			
	実施日：平成29年7月4日(火)			
受講児童：4年生 19人				
○学力向上システム開発校		250千円		
学力向上に係る課題に基づく実践上の取組を設定し、課題を克服するための新たな方策の開発に主体的に取り組む。				
実施校：長岡小学校				
実施年度：平成29年～30年度(2か年)				
○教育研究事業負担金		250千円		
○修学旅行引率補助金		404千円		
主な財源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3)	364千円	
	府補	もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金(1/2)	40千円	
	府委	学力向上システム開発事業費委託金(10/10)	250千円	
成果・課題	○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業
細事業名	01 中学校管理運営事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
60,662千円	62,359千円	1,697千円	97.2%	60,404千円
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。			
主要な事務・事業の概要	<p>学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 48,684千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、燃料費(事務用品、用紙、コピー、灯油ほか) 15,097千円 ・食糧費、印刷製本費(来客用茶、ちりめん卒業証書ほか) 773千円 ・電気代 24,256千円 ・水道料 8,242千円 ・修繕費(印刷機、プリンタ等の修繕) 316千円 ○役務費 2,272千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話代、郵送料 1,661千円 ・手数料(ピアノ調律、クリーニング、ごみ処理ほか) 611千円 ○委託料 6,201千円 <ul style="list-style-type: none"> ・理科薬品廃棄処分、害虫駆除委託料 222千円 ・作業員業務人材派遣委託料(3校、4人) 5,979千円 ○使用料及び賃借料 399千円 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ受信料、ガス警報器使用料 91千円 ・印刷機借上料、コピー機借上料 308千円 ○備品購入費 2,006千円 <ul style="list-style-type: none"> ・テント、防球ネット、保健器具、特別支援学級用備品ほか ○負担金、補助及び交付金 1,051千円 <ul style="list-style-type: none"> ・校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 ○補償補てん及び賠償金 49千円 <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技大会中事故における賠償金 			
主な財源	諸収入 総合賠償補償保険金 49千円			
成果・課題	<p>○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。</p> <p>○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業
細事業名	02 中学校事務補助経費			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,028千円	5,189千円	161千円	96.8%	5,189千円
目的	学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>複数配置校</p> <ul style="list-style-type: none"> 峰山中学校 事務補助(1人) (1日6時間・週5日勤務) 大宮中学校 事務補助(1人) (1日6時間・週5日勤務) <p>再配置校</p> <ul style="list-style-type: none"> 久美浜中学校 事務補助(1人) (1日7時間・週5日勤務) <ul style="list-style-type: none"> ○臨時職員賃金 4,363千円 ○共済費(社会保険料、労災保険料) 665千円 			
主な財源				
成果・課題	<p>○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。</p> <p>○学校運営に支障をきたすと判断する場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を求めていく必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	03中学校施設整備事業
細事業名	01 中学校施設改修事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
22,973千円	23,014千円	41千円	99.8%	40,300千円
目的	老朽化している学校施設が多い中、市内中学校施設における改修工事等を行い、生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。			
主要な 事務・ 事業の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○委託料 745千円 弥栄中学校消防設備改修工事監理業務 ○工事請負費 22,228千円 弥栄中学校消防設備改修工事(機械・電気) 19,677千円 網野中学校通級指導室空調化工事 531千円 その他工事(12工事) 2,020千円 			
主な財源	市債 中学校施設整備事業債(緊急防災・減災事業債)			20,400千円
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画(行動計画)に則り、個々の学校施設の現状を把握し、今後の長寿命化計画の作成を検討する必要がある。 			
所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	04生徒教職員健康管理事業
細事業名	01 生徒教職員健康管理事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,709千円	6,536千円	827千円	87.3%	6,749千円
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の健康の保持増進と中学校の教育活動における安全な環境を整える。			
主要な 事務・ 事業の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費(保健衛生消耗品・医薬材料ほか) 725千円 ○委託料 4,386千円 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒各種検診・検査 3,476千円 <ul style="list-style-type: none"> 心臓検診委託料 1次 481人(1年、経過検診者) 2次 98人 眼科検診委託料 1,512人 耳鼻科検診委託料 1,503人 尿検査委託料(春) 1次 1,522人 2次 127人 尿検査委託料(秋) 1次 1,521人 2次 103人 血液検査委託料 523人(2年、経過観察者) 脊柱側彎検診委託料 10人(校医抽出者) 結核検診委託料 1人(精密検査該当者) ・教職員健康診断委託料 767千円 ・教職員結核検診委託料 143千円 ○使用料及び賃借料 598千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料(検診時医師送迎) 26千円 ・機械借上料(AEDリース) 572千円 全校設置済(中学校6校) 			
主な財源				
成果・課題	AEDの全中学校配備をはじめ、健康診断、結核検診の実施など、生徒及び教職員の健康の保持増進、学校の安全な環境整備に努めた。			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業														
細事業名	01 中学校スクールバス運行管理事業			決算書 P.144														
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額														
80,565千円	80,592千円	27千円	99.9%	80,164千円														
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の安全な通学手段を確保する。																	
主要な事務・事業の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを運行した。																	
	○スクールバス運行管理委託料 78,587千円 ※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託したもの。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>峰山中</td> <td>1台</td> <td rowspan="7">大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象運行分</td> </tr> <tr> <td>大宮中</td> <td>(1台)</td> </tr> <tr> <td>網野中</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>丹後中</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>弥栄中</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>久美浜中</td> <td>11台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18台(19台)</td> </tr> </table>				峰山中	1台	大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象運行分	大宮中	(1台)	網野中	3台	丹後中	2台	弥栄中	1台	久美浜中	11台	計
峰山中	1台	大宮南小スクールバスの大宮中生徒対象運行分																
大宮中	(1台)																	
網野中	3台																	
丹後中	2台																	
弥栄中	1台																	
久美浜中	11台																	
計	18台(19台)																	
	○車両維持管理経費 1,670千円 ・需用費(消耗品費、修繕料)、自動車借上料																	
	○バス停・車庫維持管理経費 65千円 ・燃料費、火災保険料																	
	○ドライブレコーダー設置経費(17台) 243千円 ・消耗品費、備品購入費																	
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	20,000千円															
	諸収入	市営バス運行収入	1,015千円															
	諸収入	市営バス回数券販売収入	360千円															
成果・課題	○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。																	
	○より安全なスクールバス運行を行うため、運行管理委託業者への指導の徹底及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																	
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																	

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業
細事業名	02 中学校スクールバス購入事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
3,325千円	3,330千円	5千円	99.8%	7,323千円
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の安全な通学手段を確保する。			
主要な事務・事業の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認められた生徒の通学のためにスクールバスを購入した。			
	○備品購入費(スクールバス1台) 3,195千円 ・峰山中 (29人乗り)			
	○購入に係る諸経費 130千円 ・手数料、保険料、自動車重量税			
主な財源	市債	中学校スクールバス整備事業債(過疎対策債)		3,100千円
成果・課題	○中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。			
	○スクールバスの安全な運行を確保するため、計画的に車両を更新する必要がある。			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業																							
細事業名	03 中学校通学支援事業			決算書 P.144																							
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																							
304千円	352千円	48千円	86.3%	352千円																							
目的	自転車通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメット購入補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																										
主要な事務・事業の概要	○通学用ヘルメット購入補助金		304千円																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>中学校名</th> <th>対象生徒数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>104人</td> <td>130千円</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>58人</td> <td>73千円</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>27人</td> <td>38千円</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>15人</td> <td>13千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>33人</td> <td>41千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>9人</td> <td>9千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>246人</td> <td>304千円</td> </tr> </tbody> </table>				中学校名	対象生徒数	補助金額	峰山	104人	130千円	大宮	58人	73千円	網野	27人	38千円	丹後	15人	13千円	弥栄	33人	41千円	久美浜	9人	9千円	計	246人
中学校名	対象生徒数	補助金額																									
峰山	104人	130千円																									
大宮	58人	73千円																									
網野	27人	38千円																									
丹後	15人	13千円																									
弥栄	33人	41千円																									
久美浜	9人	9千円																									
計	246人	304千円																									
主な財源																											
成果・課題	自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図った。																										
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																										

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	06中学校施設管理事業
細事業名	01 中学校施設管理事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
8,711千円	9,041千円	330千円	96.3%	8,950千円
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。			
主要な事務・事業の概要	○施設等修繕		2,552千円	
	・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕			
○各種検査等手数料		47千円		
・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査				
○建物火災保険料		327千円		
○施設保守管理等委託料(11業務)		4,205千円		
・デマンド監視業務、消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、給食用リフト保守点検、学校警備、雑木伐採、給食施設消毒等業務、貯水槽保守点検、グリストラップ処理、空調設備保守点検				
○施設用地借上料		1,460千円		
・弥栄中学校(給食棟、テニスコート用地 4,922㎡)				
○施設修繕のための原材料、消耗品		120千円		
・グラウンド用山土、砂、修繕用木材等				
主な財源				
成果・課題	○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切な維持管理を行う必要がある。			
所管課	教育委員会事務局/教育総務課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	01中学校教育振興事業
細事業名	01 中学校教育振興事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
32,444千円	35,751千円	3,307千円	90.7%	35,751千円
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 1,189千円 <ul style="list-style-type: none"> ・入学記念品(462人) 252千円 ・卒業記念品(549人) 937千円 ○需用費 11,347千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 11,028千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品、学力検査、指導書、道徳副読本ほか ・印刷製本費 319千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会科副読本「京丹後市の歴史」510部 ※中学1年生に配付 ○役務費 54千円 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器運搬手数料 ○委託料 14,967千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス定期外運行運転委託料 ○使用料及び賃借料 771千円 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車借上料 247千円 ・有料道路通行料 489千円 ・駐車場使用料 35千円 ○負担金、補助及び交付金 4,116千円 <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会等選手派遣費補助金 			
主な財源				
成果・課題	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
9,010千円	9,395千円	385千円	95.9%	9,407千円
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。			
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。</p> <p>また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 237千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料(教材備品の修繕) ○役務費 321千円 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器調整手数料 ○使用料及び賃借料 32千円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書システムソフトウェア使用料(全中学校) ○備品購入費 8,420千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品整備 5,105千円 ・学校図書整備 1,976千円 ・理科教育等設備整備(理科・数学備品) 1,339千円 			
主な財源	国補 繰入金	理科教育設備整備費等補助金(1/2) ふるさと応援基金繰入金	669千円 5,000千円	
成果・課題	<p>○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科(数学)教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。</p> <p>○新学習指導要領の導入を見据え、学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	03中学校就学援助事業
細事業名	01 中学校就学援助事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
26,123千円	26,467千円	344千円	98.7%	26,124千円
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○就学援助費 24,357千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護認定者 16人 (H28 18人) 433千円 <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行費 433千円 医療費 0千円 ・準要保護認定者 172人 (H28 190人) 21,981千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 9,652千円 給食費 7,943千円 修学旅行費 4,377千円 医療費 9千円 <p>※申請者数 205人 (H28 230人) 認定者数 188人 (H28 209人)</p> <p>・平成30年度入学者新入学児童生徒学用品費入学前支給分 1,943千円 支給者数 41人 (H29から新規) ※平成30年3月16日支給</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 1,766千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 32人 (H28 41人) 1,766千円 <ul style="list-style-type: none"> 学用品費等 497千円 給食費 746千円 修学旅行費 523千円 			
主な財源	国補	就学援助費補助金 (1/2)	216千円	
	国補	特別支援教育就学奨励費補助金 (1/2)	834千円	
成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>			
所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業																																																		
細事業名	01 中学校スクールサポーター等設置事業			決算書 P.146																																																		
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																																																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																		
44,918千円	45,837千円	919千円	97.9%	49,952千円																																																		
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																																					
主要な事務・事業の概要	<p>○介護職員 6人 (1日7時間、週5日勤務)</p> <p>○講師 (小中一貫講師) 6人 (1日7時間45分、週5日勤務)</p> <p>○講師 (小中一貫コーディネーター) 6人 (1日7時間45分、週4日勤務)</p> <p>○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 6人 (1日7時間45分、週5日勤務)</p> <p>・臨時職員賃金 38,215千円</p> <p>・共済費 (社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 6,703千円</p> <p>配置一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th rowspan="2">介護</th> <th colspan="2">小中一貫</th> <th rowspan="2">相談員</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>講師</th> <th>コーディネーター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>大宮中</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>網野中</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>丹後中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	介護	小中一貫		相談員	計	講師	コーディネーター	峰山中	1人	1人	1人	1人	4人	大宮中	0人	1人	1人	1人	3人	網野中	2人	1人	1人	1人	5人	丹後中	1人	1人	1人	1人	4人	弥栄中	1人	1人	1人	1人	4人	久美浜中	1人	1人	1人	1人	4人	計	6人	6人	6人	6人	24人
学校名	介護	小中一貫		相談員			計																																															
		講師	コーディネーター																																																			
峰山中	1人	1人	1人	1人	4人																																																	
大宮中	0人	1人	1人	1人	3人																																																	
網野中	2人	1人	1人	1人	5人																																																	
丹後中	1人	1人	1人	1人	4人																																																	
弥栄中	1人	1人	1人	1人	4人																																																	
久美浜中	1人	1人	1人	1人	4人																																																	
計	6人	6人	6人	6人	24人																																																	
主な財源																																																						
成果・課題	<p>○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。</p> <p>○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。</p> <p>○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。</p>																																																					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課																																																					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業
細事業名	02 中学校教育推進活動実践事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,377千円	1,514千円	137千円	90.9%	1,314千円
目的	国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。			
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○教育実践研究指定事業 200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・法やルールに関する教育研究指定事業 200千円 府指定：久美浜中学校区 ○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 569千円 <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） 360千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） 209千円 ○和装教育推進事業 238千円 <ul style="list-style-type: none"> ・着付け体験学習（全中学校） 受講生徒 529人 ○教育研究事業負担金 112千円 ○修学旅行引率補助金 258千円 			
主な財源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3）	274千円	
	府委	法やルールに関する教育研究指定事業費委託金（10/10）	200千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。 			
所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業																																																																																
細事業名	01 幼稚園管理運営事業			決算書 P.146																																																																																
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																																																																																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																																
13,833千円	14,456千円	623千円	95.6%	16,013千円																																																																																
目的	適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実を図る。																																																																																			
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園運営に必要な維持管理を行い、必要経費を支出した。預かり保育事業の実施により、保護者の就労等による幼稚園における子育て支援のニーズに応えることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">園児数（H30.3.1現在）</th> <th colspan="4">預かり保育（実人数）</th> </tr> <tr> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>計</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山幼稚園</td> <td>14人</td> <td>7人</td> <td>14人</td> <td>35人</td> <td>2人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>大宮幼稚園</td> <td>15人</td> <td>20人</td> <td>22人</td> <td>57人</td> <td>6人</td> <td>12人</td> <td>7人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>網野幼稚園</td> <td>4人</td> <td>14人</td> <td>6人</td> <td>24人</td> <td>人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>丹後幼稚園</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>4人</td> <td>17人</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>1人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>弥栄幼稚園</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>14人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山幼稚園</td> <td>4人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>23人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46人</td> <td>66人</td> <td>58人</td> <td>170人</td> <td>18人</td> <td>37人</td> <td>19人</td> <td>74人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○バス運転委託料、自動車借上料（園外活動） 128千円 ○一般管理経費 13,705千円 <ul style="list-style-type: none"> 教諭研修等旅費等 915千円 消耗品費・燃料費・光熱水費等 11,439千円 各種負担金 184千円 備品購入費 456千円 通信運搬費・各種手数料等 413千円 使用料及び賃借料 298千円 					園児数（H30.3.1現在）				預かり保育（実人数）				3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計	峰山幼稚園	14人	7人	14人	35人	2人	4人	3人	9人	大宮幼稚園	15人	20人	22人	57人	6人	12人	7人	25人	網野幼稚園	4人	14人	6人	24人	人	6人	1人	7人	丹後幼稚園	4人	9人	4人	17人	2人	6人	1人	9人	弥栄幼稚園	5人	5人	4人	14人	5人	4人	2人	11人	かぶと山幼稚園	4人	11人	8人	23人	3人	5人	5人	13人	計	46人	66人	58人	170人	18人	37人	19人	74人
	園児数（H30.3.1現在）					預かり保育（実人数）																																																																														
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計																																																																												
峰山幼稚園	14人	7人	14人	35人	2人	4人	3人	9人																																																																												
大宮幼稚園	15人	20人	22人	57人	6人	12人	7人	25人																																																																												
網野幼稚園	4人	14人	6人	24人	人	6人	1人	7人																																																																												
丹後幼稚園	4人	9人	4人	17人	2人	6人	1人	9人																																																																												
弥栄幼稚園	5人	5人	4人	14人	5人	4人	2人	11人																																																																												
かぶと山幼稚園	4人	11人	8人	23人	3人	5人	5人	13人																																																																												
計	46人	66人	58人	170人	18人	37人	19人	74人																																																																												
主な財源	使用料	幼稚園保育料	3,589千円																																																																																	
	国補	幼稚園就園奨励費補助金（1/3）	12千円																																																																																	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成に基礎を培う就学時前教育の場を提供することができた。 ○今後さらに、市域における就学時前教育の充実を図ることが必要である。 																																																																																			
所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																																																																			